



 公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies

〒689-1111 鳥取市若葉台北一丁目1番1号
TEL: 0857-38-6720 FAX: 0857-38-6709
mail: nyushi@kankyo-u.ac.jp
WEB: <https://www.kankyo-u.ac.jp/>

WEBサイト



公式 X



公式LINE@



公式YouTube



TUES

UNIVERSITY GUIDE BOOK

私たちの今とリアルを
あなたに届けます。

特集

CAMPUS x COMMUNITY
CAMPUS LIFE REPORT

大学案内
2025



公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies

大学概要

学長挨拶・基本理念	03
取組紹介 (SDGs・脱炭素)	05
卒業生&在学生インタビュー	07
学部・分野説明	09

環境学部

学部概要	11
カリキュラム	13
分野説明	15
教員紹介	19
CAMPUS×COMMUNITY	21

経営学部

学部概要	23
カリキュラム	25
分野説明	27
教員紹介	31
CAMPUS×COMMUNITY	33

学部共通

副専攻制度	35
人間形成教育	37
プロジェクト研究	39
国際交流	40
大学院	41
附属研究機関	42

学生生活

年間スケジュール	43
Campus Life Report	45
クラブ・サークル	47
データでわかる!TUES情報	49
Campus Map	51

就職

就職支援センター	53
就職・進学実績	55

学生サポート

学生サポート・学納金等	56
入試情報	57
アクセス・学外施設	58

境界を越えよう!
ここが挑戦のステージ。

キャンパスライフがどんな時間になり、
人生にとってどんな大切な意味をもつのか。
それは、全てあなたの気持ち次第です。

「怖くて行動できない」「私はそういうタイプではない」
そんな人もいるかもしれませんが、でも、大丈夫。
自分なりの新しい一歩、いえ半歩踏み出すだけでいいのです。

公立鳥取環境大学は、学生一人ひとりを応援します。
さあ、あなたなりの挑戦をここでしてみませんか？

公立鳥取環境大学という舞台が 皆さんを待っています

環境問題は近年、気候変動やそれに伴う災害などで多くの人にとって身近になりました。中でも地球温暖化ガスの排出の増大は緊急に対処すべき問題で、誰もが自分ごととして考える必要があります。

今は経済活動を行う際も、環境への対応を一部ではなく中心に置かなければならない時代、とすることもできるでしょう。持続可能な社会を実現するために、環境保全と経済発展を両立させなければなりません。

つまり「経営」視点をもった環境学、「環境」を意識した経営学が求められています。その両方を軸とし、GX(グリーン・トランスフォーメーション)やDX(デジタルトランスフォーメーション)に繋がる学びができる本学は、社会に対して大きな責任を持っていると同時に、皆さん一人ひとりに大きなやりがい、生きがいを与えることができる大学だと思っています。

本学は、鳥取という自然が豊かで、人として健やかに生きられる要素が溢れる場所にあります。友人や教職員との距離が近く、地域とも接しやすい。小規模なので、何事にも挑戦しやすく、自らの意見を通して大学づくりへの参画もできます。そういった利点を生かした、他の大学にはない取り組みの開発を懸命に進めています。

私は皆さんに、「自分は、将来、どんな生き方をするのか」、「どんな仕事をしたいのか」を考えて大学での日々を送り、思索し行動し失敗もして、成長して欲しいと心から願っています。舞台は皆さんを待っています。一緒に頑張りましょう。

公立鳥取環境大学 学長

小林 朋道

専門分野:動物行動学、進化心理学

岡山大学理学部卒業後、京都大学で理学博士取得。岡山県の高등학교に勤務後、2001年に本学に着任し、環境学部長、大学院環境経営研究科長、理事兼副学長などを歴任し、現在に至る。



基本理念・目的

公立鳥取環境大学の基本理念

公立鳥取環境大学は「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うことを基本理念としています。

公立鳥取環境大学の目的

公立鳥取環境大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教育・研究し、人と社会と自然との共生を実現していくため、豊かな人間性にあふれ、自ら考え行動し、力強く生きる人間を育成します。

また、持続的な社会の発展を目指し、地域の自然環境や人と人とのつながりを大切にすローカルな視点を持ちながら、自然環境の保全と人類の経済発展の両面にわたりグローバルに活躍できるバランス感覚に優れた、地域とつながり、地域を担う人材、世界にはばたく人材を育成します。

公立鳥取環境大学の特色

公立鳥取環境大学は鳥取県と鳥取市が設立した公立大学です

目指す大学像

ローカルかつグローバルに環境と経営を学ぶ大学

「経営」視点をもった環境学、「環境」を意識した経営学が求められています。本学で行っている、「環境」と「経営」の交わる教育と研究が、国内外から注目されており、日本各地から学生が集まっています。鳥取県をフィールドに研究を展開し、地域の発展に貢献する取り組みや、海外の大学と連携する国際交流活動も行っています。



人材育成の目標

10年後、20年後にますます社会で活躍できる 知力と人間力に優れた人材を育成

本学では「人間形成科目」を土台に「学部専門科目」を学修します。さらに「プロジェクト研究」で学ぶ意欲や好奇心を引き出すことで知力を高めます。また教員、職員、鳥取の人々との思いやりあふれる交流によって人間力を強化。知力と人間力を備えることで、時代の変化に対応できるたくましい人材を育成します。



学びのスタイル

いつでも利用可能な学生研究室

本学の学生研究室は、1年次からいつでも利用可能です。学生たちは、研究について仲間と議論を深めたり、資格試験対策やレポート作成などに利用しています。全国的にも珍しいスタイルです。



学生と先生との距離の近さが自慢

学生研究室と教員研究室の距離は廊下をはさんで約2m。小規模な大学のため教員の目も行き届きやすく、親身なサポートを受けることができます。物理的にも精神的にも「先生との距離が近い」、さらに「面倒見がいい」との学生の声が多く寄せられています。


就職活動に役立つプログラム

自ら学ぼうとする力や仲間とのチームワークが身に付くプロジェクト研究、異文化にふれる海外への短期・長期留学、実際の仕事を体験するインターンシップ、資格取得を支援する学内講座など、就職活動に役立つプログラムを用意しています。

SDGs(持続可能な開発目標)

持続可能な社会を目指す大学だからこそできることを。
地域と連携して実践します。

公立鳥取環境大学は創立以来、持続可能な社会の実現を目指してきました。
SDGsの趣旨は本学の基本理念に一致することから、2018年10月10日、大学として一丸となってSDGsに取り組むことを宣言しました。
これまでに培ってきた教育・研究の力を活用し、SDGsの達成に貢献します。




詳細はこちら
さらに詳しい内容を紹介しています

脱炭素の実現に向けた取組

2030年での電力のゼロエミッションへ。脱炭素先行地域に選定。
教員も学生も一丸となって取り組みます。

脱炭素社会の実現は地球温暖化対策として世界的な潮流となっています。国際社会では、2050年までに温室効果ガスの排出ゼロを目指すことが合意されていますが、さらに前倒しして達成を求める機運も高まっています。日本では2050年の前段階として、2030年に2013年度比46%の削減を目標としています。環境省は、その実現に向けて「脱炭素先行地域」を全国で100カ所程度指定し、モデル的な取り組みを進める方針です。2023年度に本学は、環境省の「脱炭素先行地域(第3回)」に鳥取市、株式会社とっとり市民電力、株式会社山陰合同銀行とともに選定されました。4者が一体となり、2030年の脱炭素社会実現に向けた具体的な行動を開始します。本学がある若葉台地区では、周辺の1680世帯の住宅や大学建物の屋根に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用を図ります。併せて大学施設の断熱性能向上や省エネ化により、電力使用量の削減にも取り組みます。一方、山間部の佐治地区においては、バイオマス発電や佐治川の水力発電による電力供給を計画しています。こうした取り組みと併せ、本学の教育研究機能を活用。環境問題に詳しい教員が地域の合意形成を促進するほか、コンピューター科学の知見を生かした電力使用の最適化なども検討中です。学生にもプロジェクトへの参加を求め、実践的な学びの場を提供していきます。



詳細はこちら
さらに詳しい内容を紹介しています

Race to Zeroとは?

脱炭素の実現に向けた取り組みをさらに加速するため、本学は二酸化炭素削減の国際キャンペーンRace to Zeroへ2023年8月から参加しています。

Race to Zeroとは、2050年までの温室効果ガスの実質ゼロ排出を目指すグローバルなキャンペーンのこと。国連気候変動枠組条約(UNFCCC)が主導し、企業や地域などを対象に科学的根拠に基づいた目標を設定し、実行に移すことを求めています。参加者は、ゼロ排出に向けた具体的な行動計画を立て、毎年進捗状況を報告する必要があります。本学も太陽光発電の導入、断熱改修(屋上、外壁、窓ガラス)、照明改修(LED化等)、空調改修を主な対策として脱炭素実行計画を策定しました。

活動紹介

SDGsオンライン講座



「持続可能な社会」の実現を目標に、本学の教育リソースをオンラインの講座として提供しています。高校生をはじめ、学校、ステークホルダーなど多くの人が、持続可能な社会の発展に向けて知識向上を図ることができます。現在、本学公式YouTubeチャンネルで19本のオンライン講座を公開しています。(2024年4月時点)

講座動画は
こちら▶



SDGs連携事業



鳥取商工会議所工業部会と本学の教員・学生が連携しSDGsの取り組みを進めています。2023年度は3社が抱える課題に取り組みました。豆乳製造で排出されるおからの処理の問題、原木椎茸植菌時に使用する発泡スチロールのゴミ問題、下水排水の減量化に関する問題など企業が直面している問題に取り組むことが、学生の成長を促す貴重な機会となっています。

SDGsカフェ



2023年2月、「SDGsカフェ〜条件付特定外来生物について学ぼう!!〜」を開催し、アメリカザリガニなど外来生物の生態や法規制について学ぶ機会を設けました。小学生や保護者、学生などが参加し、ミニ講義やクイズ、ゲームを体験しました。サステナビリティ研究所では、今後もSDGsに関連する様々なテーマの下、楽しみながら学んでもらえる場をつくっていきます。

COP28



2023年、アラブ首長国連邦(UAE)で行われた、気候変動対策を話し合う国連の会議「COP28」(国連気候変動枠組条約第28回締約国会議)。その中の環境省が設けた「ジャパン・パビリオン」での「自治体が主導する持続可能な社会への移行に関するセミナー」に本学学生2名、教員1名が参加しました。鳥取県の脱炭素の取り組みについて、英語でプレゼンテーションを行うことで全世界に発信。また、各国の参加者と意見交換を行いました。

活動紹介

TUES Sustainability Week



脱炭素を起点に地域・大学の持続可能性について考える「TUES Sustainability Week」を2023年12月に開催。今回のテーマは「次世代への種まき」とし、期間中は学内で様々なイベントが行われました。メイン企画のリレー形式の講演「Sustainability Talks」では、平井伸治鳥取県知事も登壇。多くの聴衆を集めました。この取り組みは学生EMS委員会が企画し、サステナビリティ研究所と一緒に主催したもので、今後毎年開催することとしています。

脱炭素アドバイザー 資格認定制度



脱炭素化を力強く推進するにあたっては、十分な知見や能力を有した人材による支援が欠かせません。教育機関である本学には、脱炭素の専門家と言える人材を育成することが求められています。2023年より、環境省が複数の民間資格の合格者を「脱炭素アドバイザー」と認定する制度を開始。本学ではサステナビリティ研究所を主体として、「脱炭素アドバイザー ベーシック」の取得を目指す活動を行っています。

卒業生 & 在学生インタビュー

先輩方はどんな関心を持って学び、どんな課外活動を行いますか。そしてどんな未来を描いたのでしょうか。今、学んでいる先輩や卒業して社会で活躍している先輩に直撃しました！



東日本電信電話株式会社

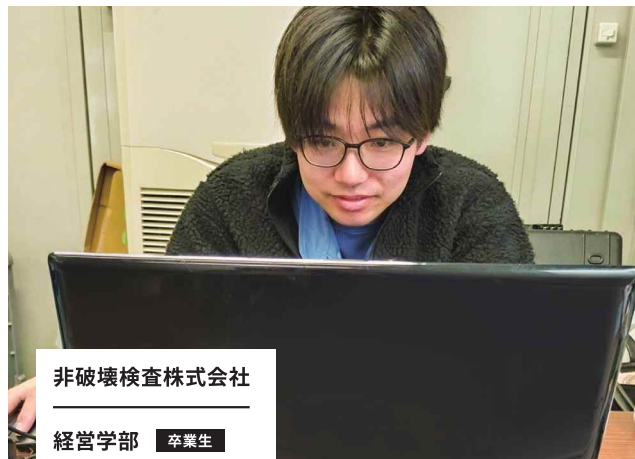
環境学部 卒業生
秋原 陸斗さん
▶ 2020年度卒業
▶ 神奈川県出身

NTT東日本でオフィスの課題解決のサポートをする仕事をしています。今思えば大学時代は、挑戦の4年間でした。ニュージーランドに語学留学し、文化交流でロシアにも行きました。環境大で始めたハンドボール部では部長を務め、部をまとめる経験も。論文コンクールにも挑戦し、優勝することができたのもいい思い出です。関東出身ということもあり、大学時代の4年間を鳥取で過ごすことは大切な自分のアイデンティティになっています。



“鳥取での挑戦は、自分のアイデンティティに。”

“資格取得のため勉強中。今後もインフラを支えていく。”



非破壊検査株式会社

経営学部 卒業生
高柳 健也さん
▶ 2020年度卒業
▶ 長野県出身

原子力のプラントを保守するのが私の仕事です。配管を支えるため、運転停止中に特殊な装置を使って業務に当たっています。環境大ではSDGsを取り入れた経営をゼミで学び、健康寿命に関する論文を書きました。環境大の規模がちょうどよくて、友達がたくさんできたのがよかったですね。職場にも環境大の先輩がいらっしゃいます。今は仕事に必要な資格取得のため日々勉強中です。インフラを支える仕事ですので非常にやりがいがあります。



“人に恵まれた大学生活。いつか鳥取に恩返しを。”

長崎県の五島で国立公園の管理の仕事をしています。パトロールしたり、ゴミを回収したり、各種の許可をしたりと業務は多岐にわたります。環境大では造園や都市公園に関するゼミで、自然歩道や森林の持つ役割の学びを深めました。また、「フィールド演習」という学外に出る授業を通して、自然保護官の方々に会うことができ、自分もその道に進むことに。鳥取ではたくさんの方々にお世話になったので、いつか恩返ししたいと思っています。



環境省

環境学部 卒業生
江頭 樂久さん
▶ 2020年度卒業
▶ 佐賀県出身

“週4練習の和太鼓に夢中。動物のことももっと学びたい。”

動物行動学が学べるのが魅力だと感じ、環境大に入学しました。動物のことはもちろん、環境に関する様々な分野が学べて発見の毎日です。部活は和太鼓部、ヤギ部、生物部、ダイビング部の4つを掛け持ちしています。メインは週4で練習がある和太鼓部。近くのお祭で披露したり、和太鼓のイベントに向けて猛練習したり。私は人と交流することや新しいことに挑戦するのが大好きなので、授業でも部活でも学外に飛び出せる今の環境はとても恵まれていると思っています。



環境学部 在学生
岩本 花さん
▶ 東京都出身



“授業や部活動を通して、すぐ仲良くなれるのは魅力。”

漠然と環境のことを学びたいと思って、環境大を選びました。特に地震などの災害や気象のことに興味があることもあり、防災同好会に所属して地域のイベントで啓発の活動などを行っています。小中高と野球をしていたのでソフトボール部も兼部中です。授業では「プロジェクト研究」が面白いです。私たちのグループでは粘土を使ったアニメを制作しました。アカデミックな雰囲気に加えて和気あいあいとしていて、誰とでもすぐ仲良くなれるのは環境大の魅力ですね。



環境学部 在学生
東 大晃さん
▶ 兵庫県出身

“大好きな英語を楽しく。英語村も活用して学修中。”

興味があった英語サークルに入って、英語のミュージカルに挑戦しました。歌も好きだったのでとてもいい経験になりました。マーケティングのことを英語でプレゼンする大会にも出場し、緊張しましたが、自分たちの考えを伝えられたと思います。普段は英語のシャワーを浴びることのできる英語村というスペースも活用しています。授業では経営やマーケティングを中心に学んでいて、将来的には英語をマスターして、人と関わる仕事ができればと考えています。



経営学部 在学生
角南 百花さん
▶ 岡山県出身





7つの学修分野+教職課程

5つの副専攻

環境学部と経営学部がある本学。環境学部には3つ、経営学部には4つの学修分野があり、幅広い学問領域に対応しています。また、環境学部には教職課程(理科)もあります。主専攻に加え、5つの副専攻もあり、より多角的な視点や境界を超えた発想力を養います。

環境学部

環境学部 定員150名

「環境」を実践的に学ぶフィールドワークに1年次から取り組みます。自然環境保全、循環型社会形成、人間環境といった学修分野について幅広い関連科目を学びます。また、教職課程も設置しています。環境問題解決能力をはじめ、人間力を育成していきます。

自然環境保全 P15へ▶	動物、植物、大気、水、地形、地質を中心に自然環境のメカニズムについての基礎知識を学び、地上気象観測や衛星観測を通じたモニタリング技術などの応用技術を学びます。
循環型社会形成 P16へ▶	廃棄物処理、リサイクル、環境汚染対策、再生可能エネルギーの有効活用について学びます。また、行政や社会制度も学ぶことで、総合的に循環型社会の形成について学びます。
人間環境 P17へ▶	人間が快適な生活をするためにつくりだしてきた住まいをはじめ、都市、農村、緑、景観、文化などの人間と社会をとりまく環境について、自然と共生するあり方を学びます。
教職課程 P18へ▶	教員免許を取得するには、環境学部の卒業要件を満たすことに加えて、教職課程専門科目、教育実習、その他免許取得のために必要な科目を修得する必要があります。

経営学部

経営学部 定員150名

多様なビジネス社会で活躍するために必要なマネジメント基礎力をはじめ、企業、会計・ファイナンス、地域、情報の視点から経営学を修得します。鳥取県を学びの舞台に地域課題の解決能力、提案力や実行力を養います。

企業経営 P27へ▶	国内外で活躍できる人材へ。経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えた、グローバル時代に対応した能力の修得を目指します。
会計・ファイナンス P28へ▶	専門性を備えたジェネラリストへ。経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得を目指します。
地域経営 P29へ▶	地域のさまざまな課題を理解し、経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得を目指します。
経営情報 P30へ▶	経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得を目指します。

大学での教育3つのポイント

01 地域とのつながり

自然豊かな地域資源を活かし、また地域が直面する課題に向き合い、地域とのつながりを深め、地域の課題解決や地域経済の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。



02 社会に求められるグリーン人材に

いま、地球に生きる人全員が環境について真剣に考える必要があります。本学は持続可能な社会の実現を目指し、全学的にSDGs教育に取り組んでおり、SDGsや脱炭素に関する知識や技能を実践できるグリーン人材の育成を目指しています。

03 境界領域に強い人材に

現実の課題は複雑化しています。本学では主専攻と並行して環境学又は経営学を学ぶことができる文理横断的な学部教育を提供し、専門知の深さと併せて環境と経営をともに理解した複眼的な視野を持った人材の育成を目指しています。また副専攻制度により、より多角的な視点で、応用・境界領域に強い人材育成を目指しています。

副専攻制度 P35-36へ▶

分野別副専攻

主専攻以外の専門分野とAI・数理・データサイエンス分野を設定しています。関連する科目を体系的に履修することで、各分野について学びを深めていきます。

環境学	経営学部生が主専攻の学びに活かすことのできる環境に関する知識の修得を目指します。
経営学	環境学部生が主専攻の学びに活かすことのできる経営に関する知識の修得を目指します。
AI・数理・データサイエンス	近年、ビッグデータから有意義な情報を抽出し、活用することが広く行われています。環境学、経営学の分野でAIを利用し、ビッグデータをより効果的に活用できる人材の育成を目指します。

課題別副専攻

これからの社会で特に求められる素養として2つの分野を設定しています。将来の活動を支える考え方や発想力を築きます。

英語実践	グローバル社会の中で必要とされるコミュニケーションツールとしての英語力の育成を目指します。
地域実践(麒麟)※	地域の課題を科学的な視点から発見し、具体的な解決策を提案できる人材の育成を目指します。実践的な演習や地域連携活動を行います。 ※従来から一体的な生活圏をなし、「麒麟獅子舞」など独自の文化を共有、伝承してきた鳥取県東部地域と兵庫県の新温泉町を含む地域一帯が「麒麟地域」と設定されていることにちなんでいます。

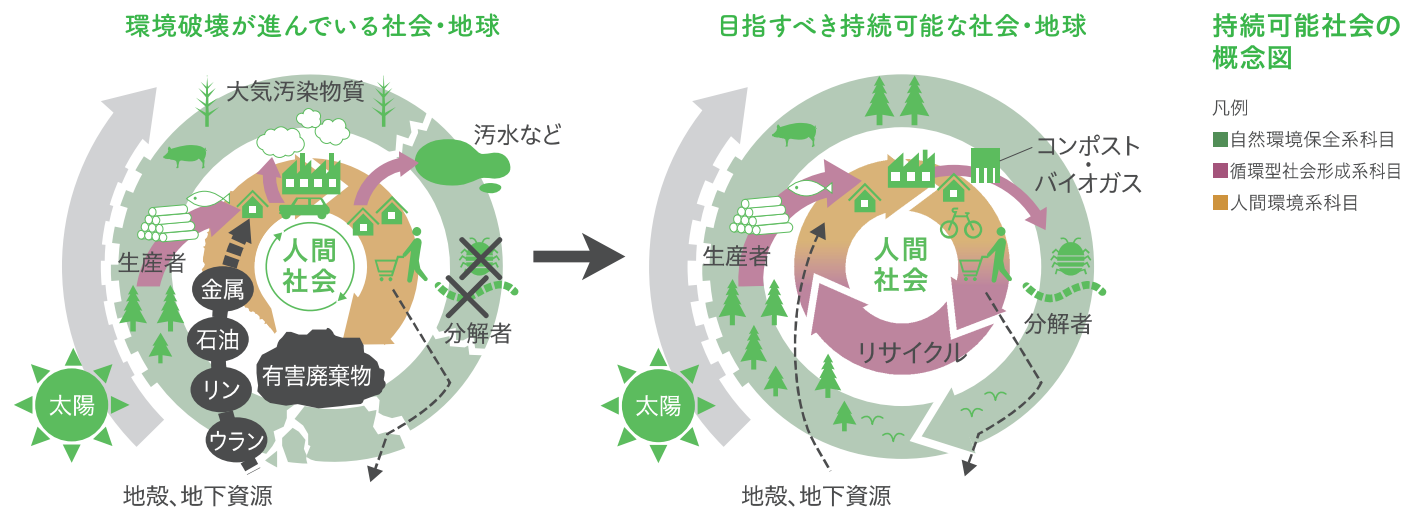
環境学部 [環境学科]

さあ、フィールドに
飛び出そう！



Feature 学部の特徴

「環境」を実践的に学ぶフィールドワークに1年次から取り組むことができる内容となっています。また、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境など幅広い分野の環境関連科目も用意しており、人と社会と自然との共生のための環境問題解決能力をはじめ、行動力やコミュニケーション力といったあなたの未来へつながる人間力にも磨きをかけます。



環境問題と専門分野

環境学部では、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境という3つの側面から環境について考えます。1年次からは環境学を幅広く学び、3年次以降はそれぞれの専門分野についてより深く学修していきます。



現場に参加

大学で学術的な研究をするだけでなく、実際に現場が抱えている課題に触れることで実践的な知識を身に付けることができます。企業、地方公共団体へ調査・研究した結果の報告、さらには課題に対する提案を行うこともあります。



環境学フィールド演習

フィールド活動の基礎的なノウハウを修得し、体験を通して理解を深めます。そのため、3つの専門分野(自然環境保全、循環型社会形成、人間環境)の領域を順次、バランスよく取り上げて学びます。



氷ノ山登山

環境学部の1年生約150名で、鳥取県と兵庫県の県境にあり、中国地方では大山に次ぐ高峰である標高1,510mの氷ノ山に登ります。フィールド演習として、教授陣とともに植物や地質などの観察を行いながら、豊かな自然を楽しみます。

学部長メッセージ

課題解決に向けて、現状の把握からはじめよう

環境学部では専門的な知識を修得する前に、全体像を把握してもらい、自分が掘り下げるべき分野を考える機会を設けます。最終的に目指すのは課題解決ですが、いきなりそこに飛ぶことはできません。この世界の誰も把握できていない余白がたくさん存在します。文献を読んだり、教室の外に出たりして、現状を知ることから始まります。環境学部がフィールドワークを重視しているのも、実際に現実世界の中に分け入って、余白の部分に少しでも近付いてもらいたいからです。鳥取は、豊かな自然環境に囲まれ、地域社会や企業、行政とも距離が近いので必ずやプラスになる経験ができるはず。現実をたくさん知ることによって葛藤も生まれるかもしれませんが、理想を持ち続けることが大切です。

模擬授業 公開中! 大学の授業の様子、環境学部の学修内容を模擬授業動画として公開しています。ぜひ視聴ください。

張 漢賢 教授
都市計画学 / 人間居住論



CURRICULUM カリキュラム

「環境」の専門知識と技術を学び 社会のために提案・実践できる能力を養います

環境学部は、「自然環境保全」、「循環型社会形成」、「人間環境」といった視点から持続可能な社会づくりのための具体的な提案、実践ができる能力、また、この能力に深く関連した問題解決能力の醸成を目指しています。
持続可能な人と社会と自然のあり方などの現代社会が抱える環境問題に関する自然科学的知識や社会科学知識を正しく理解できる能力。環境問題の改善を考えるうえで必要な思考力やコミュニケーション能力、データ解析能力。そして、グローバルな視点および地域に根差した視点から、問題の改善についての対策を提案できる能力を身に付けることを最終目標とします。

 <p>多様な分野、研究内容に触れることで興味・関心が広がります。</p>	 <p>自然へ、田舎へ、まちへフィールドワークが充実しています。</p>	 <p>調査・実験・分析の技術を実践的に身に付けることができます。</p>	 <p>教員との密なコミュニケーションにより学修をサポートします。</p>
--	---	--	--

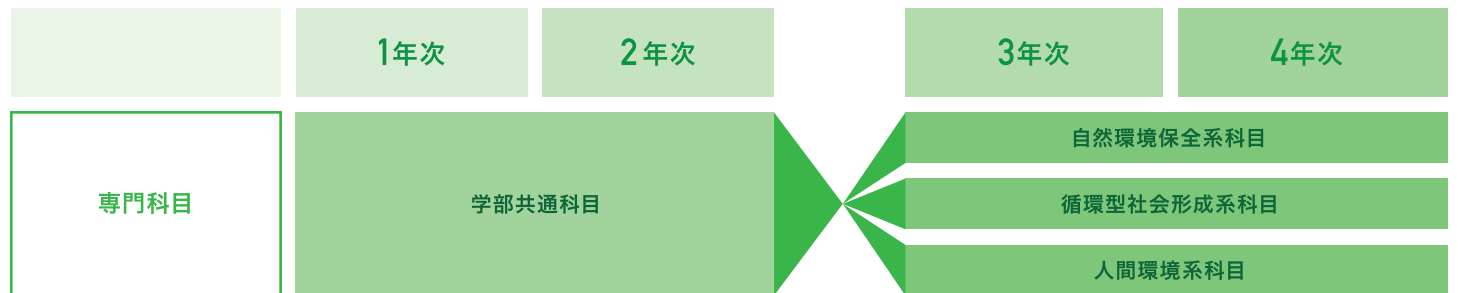
学修分野

<h4>自然環境保全</h4> <p>P15へ▶</p>	<p>動物、植物、大気、水、地形、地質を中心に自然環境のメカニズムについての基礎知識を学び、地上気象観測や衛星観測を通じたモニタリング技術などの応用技術を学びます。</p> <p>進路イメージ 民間企業や公共団体等で、自然環境保護、環境アセスメントや農林水産業に関する業務に従事、あるいは大学院へ進学し研究者を目指します。</p>
<h4>循環型社会形成</h4> <p>P16へ▶</p>	<p>廃棄物処理、リサイクル、環境汚染対策、再生可能エネルギーの有効活用について学びます。また、行政や社会制度も学ぶことで、総合的に循環型社会の形成について学びます。</p> <p>進路イメージ エネルギーや廃棄物・リサイクル関連の企業の他、行政の環境部門等、あらゆる業種において環境に関連する業務を担います。</p>
<h4>人間環境</h4> <p>P17へ▶</p>	<p>人間が快適な生活をするために作り出してきた住まいをはじめ、都市、まちづくり、景観、文化などの人間と社会をとりまく環境について、自然と共生するあり方を学びます。</p> <p>進路イメージ 民間企業や公共団体等で、住まい、都市、景観、まちづくり、農村、地域振興などの計画・設計等を担います。</p>
<h4>教職課程</h4> <p>P18へ▶</p>	<p>教員免許を取得するには、環境学部の卒業要件を満たすのに加えて、教職課程専門科目、教育実習、その他免許取得のために必要な科目を修得する必要があります。</p> <p>進路イメージ 環境に関する深い知識と基本的理解を備えた、中学・高校の理科担当教諭を目指します。</p>

	1年次	2年次	3年次	4年次
人間形成科目	<p>【総合教育科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代と人権 ○鳥取学 ○スポーツ実技 ○数理基礎 ○特別演習A～C ○地理学入門 ○環境学概論 ○現代経済学入門 ○日本国憲法 ○現代社会と健康 ○文章作成1・2 ○特別講義A ○文学 ○SDGs基礎 ○経営学入門 ○統計学入門 <p>【外国語科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Intensive English1～4 ○英語活動A・B ○海外英語研修A～C ○海外語学実習A・B ○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B <p>【情報処理科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報リテラシ1・2 <p>【キャリアデザイン科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアデザインA ○基礎インターンシップ <p>【総合演習科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクト研究1・2 	<p>【総合教育科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別講義B ○データ構造とアルゴリズム ○計算機の基礎 ○AMD実践演習A・B ○国際関係入門 ○経済史 <p>【外国語科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Intensive English5～8 ○中国語1・2 ○韓国語1・2 ○ロシア語1・2 ○Advanced English1～8 <p>【キャリアデザイン科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアデザインB <p>【総合演習科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プロジェクト研究3・4 	<p>【総合教育科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○麒麟の知 ○画像処理 ○パターン認識 ○AI ○AI実践演習 <p>【外国語科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語特別講義A～D 	
学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境保全概論 ●循環型社会形成概論 ●人間環境概論 ○環境と文明 ○微分積分学 ○線形代数 ○化学概論1・2 ○物理学概論1・2 ○生物学概論 ○地学概論 ○環境学フィールド演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○人間居住論 ○環境政策論 ○環境と倫理 ○環境経済論 ○環境情報学概論 ○環境物理学 ○環境法概論 ○環境行政論 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球観測学 ○環境データベース論 ○環境アセスメント概論 	
自然環境保全系科目	<ul style="list-style-type: none"> ○植物学概論 	<ul style="list-style-type: none"> ○化学実験 ○地学実験 ○生物学実験 ○物理学実験 ○バイオクリマ入門 ○生態学基礎 ○森林科学概論 ○水環境学 ○自然環境保全実習・演習A ○水域生態学 ○地球システム学 ○気象学概論 ○動物行動学 ○環境地質学 ○生態学概論 ○海洋環境学 	<ul style="list-style-type: none"> ○保全生物学 ○基礎土壌学 ○漁業資源保全学 ○環境土壌学 ○環境ゲム科学 ○森林資源管理論 ○森林政策論 ○自然環境保全実習・演習B 	
循環型社会形成系科目	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物学入門 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境とエネルギー ○廃棄物マネジメント学 ○応用化学概論 ○3R工学 ○水環境工学1・2 ○応用微生物学概論 ○循環型社会形成実習・演習A 	<ul style="list-style-type: none"> ○大気汚染防止 ○地域エネルギーシステム論 ○廃棄物処理技術 ○水処理技術 ○バイオマス変換論 ○有機資源利用学 ○循環型社会形成実習・演習B 	
人間環境系科目		<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンデザイン ○自然環境と文化 ○住まいと建築の歴史 ○居住インテリア計画 ○都市居住計画 ○人間環境実習・演習A 	<ul style="list-style-type: none"> ○都市の自然環境形成 ○エコハウス計画 ○景観計画と保安全管理 ○福祉住環境計画 ○都市の持続的発展 ○途上国の都市発展 ○農村の持続的発展 ○自然素材と環境 ○ジオパークと地域づくり ○木質構造計画 ○地域生活文化論 ○歴史遺産保全論 ○人間環境実習・演習B 	
演習科目	<ul style="list-style-type: none"> ○環境特別演習 	<ul style="list-style-type: none"> ○鳥取グリーンベンチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップ ○環境学ゼミ・演習1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業研究
教職課程科目		<ul style="list-style-type: none"> ○理科指導法1・2 ○教育原理 ○特別支援教育の理論と実践 ○教職論 ○教育課程論 ○教育心理学 ○教育の方法と技術 (ICT活用を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ○理科指導法3・4 ○教育の制度と経営 ○教育行政学 ○特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 ○道徳教育の理論と指導法 ○生徒・進路指導論 ○教育相談 ○環境教育論 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育実習事前事後指導 ○教育実習(中) ○教育実習(高) ○教職実践演習(中・高)

※上記の科目は、2024年4月のものです。変更になる場合があります。

○必修 ●選択必修 ○選択・自由



自然環境保全分野



なにが学べる？

環境の成り立ちやメカニズム、生物の知識をフィールド調査などを通して学べます。

自然環境の成り立ちについて基礎を中心に学修します。自然環境に関する幅広い知識を持ったうえで、将来、自然環境保護や環境アセスメント関係、あるいは農林水産業に関連する分野での活躍を希望する学生や、さらに大学院へ進学して自然環境についてより深く学ぶことを希望している学生向けです。

Pickup研究室

知識と体験の両輪をキャンパス内外で回していく。

森林を巡る社会的および経済的な枠組みや諸問題について、ローカルからグローバルな視点まで幅広くアプローチすることをモットーに研究室の運営をしています。フィールドワークを重視しており、学生には森林教育の啓発ができるようになって欲しいと考えています。森林の課題と聞くとついマクロな視点になりがちです。でも、大事なのはそこに暮らす人と生息する動植物。実際に森に分け入り、人とコミュニケーションすることが求められます。知識と体験。両輪を回していくうえで、周囲に森がある本学は素晴らしい環境だと思います。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

POINT

- 01 | 大気、水、地形、地質など自然環境のメカニズムを学びます。
- 02 | 動物、植物の生態系の視点から生物に関する知識を修得します。
- 03 | 森林、河川、海岸などのフィールドでの調査・演習を重視しています。

取得目標資格

- 環境計量士
- 気象予報士
- 環境カウンセラー
- 森林インストラクター
- ECO検定
- など



根本 昌彦 教授
森林資源管理学



循環型社会形成分野



なにが学べる？

再生可能エネルギーやリサイクルについて。また、行政や社会制度の仕組みも学べます。

持続可能な社会の構築に求められる再生可能エネルギーの活用方法や廃棄物処理などについて、基礎から応用までを一貫して学びます。エネルギー関連や産業廃棄物処理関係の民間企業のみならず、一般企業や地方自治体の環境関連の部署での活躍を希望する学生向けです。

Pickup研究室

キノコので加硫ゴムを分解し、再資源化を実現。

車のタイヤなど工業製品に使用されている加硫ゴムは、再資源化されることがあまりありません。その理由は成分が複雑で分解が難しいから。そんな社会課題に対して、キノコが有効だということがわかってきました。キノコが持つ自然の分解力で、廃ゴムが再資源化できるようになってきているのです。私たちは分解メカニズムを解析し、社会に役立つ技術の確立を目指しています。学生の皆さんはすぐに結果を求めるのではなく、一緒にじっくり考えて欲しい。そして、脱炭素化と循環型社会の実現に貢献して欲しいと願っています。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

POINT

- 01 | 天然資源の活使用、廃棄物処理、資源のリサイクルについて研究します。
- 02 | 工学的技術分野を中心に行政や社会制度についても探究します。
- 03 | eco検定など、環境に関する資格取得が目指せる講義を実施します。

取得目標資格

- 公害防止管理者
- 廃棄物処理施設技術管理者
- 環境計量士
- 技術士補(環境部門)
- 3R・低炭素社会検定
- など



佐藤 伸 准教授
バイオマス変換学/
応用微生物学

特徴的な科目

- ・自然環境保全概論
- ・環境と倫理
- ・地球観測学
- ・動物行動学
- ・保全生物学
- ・植物学概論
- ・海洋環境学
- ・水域生態学
- ・環境ゲノム科学
- ・地球システム学
- ・気象学概論
- ・環境地質学
- ・森林科学概論
- ・森林資源管理論
- ・水環境学
- ・環境土壌学

ゼミレポート ダイナミックな現場に感動。狩猟者の声にも耳を傾けたい。

私は農業高校出身でもともと林業に興味がありました。1年次からフィールドワークで安蔵森林公園に赴いて学び、2年次には智頭町でチェーンソーの実習なども経験しました。3年次から所属している根本ゼミでは先輩が芦津溪谷で材木を運搬したり、森林セラピーをしたりするお手伝いをさせていただきました。そのとき、林業に従事されている方の現場力の凄さや音のダイナミックさがとても印象的でした。同学年のゼミ仲間は10人で、先生のご自宅でBBQをしたり、モルックというスポーツと一緒に楽しんだりして先輩とも交流できました。少し前、念願だった「わな猟」と「第一種猟銃免許」を取得。今後は狩猟者の方にインタビューをして、ジビエの処理の背後にある問題などを見つけて卒業論文にしていきたいと考えています。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

根本ゼミ 山本 育実 さん 鳥取県出身



特徴的な科目

- ・循環型社会形成概論
- ・環境法概論
- ・環境行政論
- ・環境アセスメント概論
- ・環境とエネルギー
- ・大気汚染防止
- ・廃棄物マネジメント学
- ・3R工学
- ・廃棄物処理技術
- ・水環境工学1・2
- ・水処理技術
- ・応用微生物学概論
- ・バイオマス変換論
- ・有機資源利用学
- ・地域エネルギーシステム論

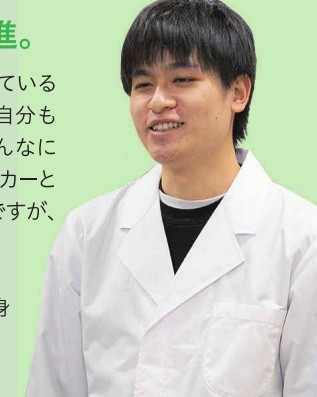
ゼミレポート 微生物の活動に惹かれて。メーカーと組んでキノコの研究に邁進。

2年次に佐藤先生の「応用微生物学概論」を履修し、目に見えないほど小さい微生物が社会の色々なところに関わっているのが面白いと感じました。また、キノコが食用だけではなく、ゴムの分解にも利用されることを知り、驚くとともに自分も研究したいと考えるように。佐藤ゼミでは菌の培養や簡単な実験から始めました。先輩の発表会に参加し、「こんなに難しいことができるのだろうか」と不安になりましたが、研究のイメージができた点はよかったです。今は大手製菓メーカーと組んで、カカオニブの廃棄部分にキノコを使って有用な揮発成分を取得する研究をしています。時間がかかって大変ですが、大学生でありながら誰もやったことがない研究ができてワクワクしますね。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

佐藤ゼミ 小畑 勇記 さん 和歌山県出身





なにが学べる？

人間の居住空間を始め、都市や地域資源など人と社会を取り巻く環境全般を学べます。

人間が生活するために構築した住まいをはじめ、都市、景観、まちづくり、地域資源、文化などの人間と社会をとりまく環境が自然と持続的に共生するあり方について学べます。住まい、都市、景観、まちづくり、地域振興などの計画・設計等に携わる民間企業や公共団体等での活躍を希望する学生向けです。

Pickup 研究室

自然をインフラとして捉え、社会課題の解決に活かす。

NbS (Nature-based Solutions) という考え方があります。これは、水や緑など自然が持つ様々な機能を社会課題の解決に活かすアプローチのこと。自然を土木インフラと同じように、私たちの生活に不可欠なものとして認識するところから始まります。ゼミ運営では造園学会に参加したり、伝統的な庭園や最新の緑地に赴いたりなど、積極的に学外に出ることを心掛けています。学生の皆さんには、「とにかく行動」「何度でも挑戦」「質問は大歓迎」「お互い助け合う」という4つのモットーを守って、楽しみながら学んで欲しいと思っています。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

特徴的な科目

- ・人間環境概論
- ・環境と文明
- ・人間居住論
- ・グリーンデザイン
- ・都市の自然環境形成
- ・農村の持続的発展
- ・自然環境と文化
- ・住まいと建築の歴史
- ・歴史遺産保全論
- ・居住インテリア計画
- ・エコハウス計画
- ・福祉住環境計画
- ・都市居住計画
- ・木質構造計画

ゼミレポート 見慣れた風景も一変。自然が生活に与える影響の大きさを実感。

高校のときから環境には興味があり、部活でフェアトレードの活動などをしていました。環境大入学後、加藤先生の授業でグリーンインフラのことを知り、全く初めての学問分野にとってもワクワクしたのを覚えています。3年次からのゼミ選択では迷わず加藤ゼミへ。鳥取市の旧本庁舎跡地へのフィールドワークから学びが始まりました。私の地元の岡山にも演習で訪れたことがあるのですが、行き慣れていた場所が先生と見ると全く違った風景に映るのが驚きでした。壁面が緑地化され、地面が芝生の駐車場など地元の最新事例を見学することもできました。ゼミを通して、自然が街や生活にどう影響を与えるのか？という視点が育まれていったように感じます。まちづくりに興味があるという方には特におすすめのゼミです。



加藤ゼミ **東谷 瑠喜さん** 岡山県出身



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています



POINT

- 01 | 生徒とのふれあいが好きで理科教育に熱意を持つ学生に最適な課程です。
- 02 | 教える土台となる物理、化学、生物、地学の基礎・応用をしっかり学びます。
- 03 | 創造力が豊かで実験や実習のできる教員を目指します。

取得目標資格

中学・高校教諭一種免許状(理科) など

なにが学べる？

理科の教員になるために必要な指導法をはじめ、教員に求められる幅広い知識を学べます。

中学・高校「理科」の教員を目指す学生向けです。なお、教員免許資格の取得には教職に関する追加の単位が必要です。

Pickup 教員採用試験合格者

大学で学んだことを胸に他者を尊重できる生徒を育てる。

中学の頃から先生に「君は教員になるだろう」と言われ、自然と教員を目指すようになりました。大学の講義で印象に残っているのは前田先生の道徳の授業です。正解がない中、どのような授業をすればいいのか悩みましたね。理科の教員になるので「理科指導法1~4」は大変勉強になりました。千代西尾先生のICTを活用した学習指導も視野が大きく広がることに。教育実習では、お世話になった先生から学級経営の仕方と楽しさを間近で学ぶことができました。今後は他者を尊重できる生徒を育てていきたいと考えています。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

教職に関する主な科目

- ・理科指導法1~4
- ・教育原理
- ・教職論
- ・教育の制度と経営
- ・教育心理学
- ・教育の方法と技術
- ・特別支援教育の理論と実践
- ・教育課程論
- ・環境教育論
- ・特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- ・生徒・進路指導論
- ・教育実習(中・高) ・教職実践演習(中・高)

ゼミレポート 教職ゼミ室に行けば、同じ夢を目指す仲間がいる。

中学のとき、先生のおかげで苦手だった理科が好きになった経験があります。花を育てている先生で、教科書の中だけではなく現実の中で学ぶことの大切さを教えてくれているようでした。教職課程を選択し、授業を作る講義を受けるようになると、面白い授業を展開することがいかに大変か気付かされました。同時に、建物の窓や田んぼの反射、乗り物の摩擦など、日常生活の中に理科に関するものがたくさんあることに気付くこともできました。環境大に進学してよかったことの一つが、ゼミ室を自由に使えること。そこにいけば仲間がいて情報交換できるし、教員採用試験の勉強をすることもできます。以前は理科さえ教えられたらいいなと思っていましたが、色々な話を聞くなかで、最近では担任もやってみたいと考えるようになってきました。



重田ゼミ **田中 杏華さん** 愛媛県出身



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

TEACHING STAFF AND RESEARCHERS

環境学部 教員紹介

環境学部長

ちよん ほんしやん
張 漢賢 教授
都市計画学
人間居住論



先進国、途上国の都市居住問題・住環境整備について学び、徒歩で生活できるコンパクトシティの原型、職住一体を可能にする空間を持つショッパハウス街区などを通して、長く使い続けられる都市生活空間の形成、仕組み、継承を研究します。

副学部長

もん ぎ ひでゆき
門木 秀幸 准教授
環境分析
廃棄物・リサイクル工学



廃棄物のリサイクルを研究しています。廃棄物には環境へのリスクだけでなく、様々な資源が眠っています。リサイクルの研究は宝探しのようなものです。探し出して利用する、そのための技術や方法を一緒に考えていきましょう。

サステナビリティ研究所長

たじま まさき
田島 正喜 教授
環境・エネルギーシステム論
水素製造システム
バイオマスエネルギー変換技術



バイオマスなどの再生可能エネルギーを用いた水素製造に関する研究を行っています。水素はCO₂を全く発生することなく使用できるため、環境に優しいエネルギーです。燃料電池自動車の燃料や、発電、熱利用にも使えます。興味深くないですか？

ゆほら かずひろ
柚洞 一央 准教授
地理学
ジオパーク
ジオツーリズム
地域づくり



「普通」ってなんでしょう。場所が変われば、「普通」も変わります。場所の比較から、地球の気持ち、人の気持ちを考えています。プラタモリのように、地域を描く力を身に付けませんか？

さとう しん
佐藤 伸 准教授
バイオマス変換学
応用微生物学



微生物は私たちの身近にたくさんいます。そのチカラを利用して未利用資源を有益なものに変換する研究に取り組んでいます。最近、ゴムを分解するキノコを鳥取で見つけました。このキノコの力が廃ゴムの再資源化に役立つのではないかと期待されています。微生物のチカラを活かして新しいモノを生み出す研究に、一緒に取り組んでみませんか？

かどの あつぶ
角野 貴信 准教授
土壌学
生態系生態学
生物地球化学



土壌がその母材である岩石などから生成するスピードに比べ、人が利用して劣化させてしまう速度があまりにも速く、そのアンバランスが問題になっています。いかにすればそのバランスを回復し、維持し続けられるのか、一緒に考えてみませんか？

あさかわ しげお
浅川 滋男 教授
文化遺産学
住環境保全論
建築人類学



大学は工学部だったのですが、得意科目は世界史・地理・英語で、長い間文化財研究所で働きました。環境学部の人間環境プログラムには、歴史・考古・地理・民族等の専門家がいます。文系志向の方も安心して受験してください。

**人間形成教育センター
副センター長**

あらた てつじ
荒田 鉄二 教授
環境哲学
文明論
持続性論



持続性問題という文明の危機を克服するには、危機の状況を正しく診断すること、その根本原因を明らかにすること、そして危機の状況と根本原因を踏まえたうえで解決策を探ることが必要です。共に学び、説得力のある解決策を提案していきましょう。

**副学長
アドミッションセンター長**

ねもと あきひこ
根本 昌彦 教授
森林資源管理学



私の関心は森林空間が持つ多様な役割を認識した上で、森林を持続可能な形で利用するための方策を示すことにあります。学生には問題を環境学生態学的に把握すると同時に、経済学や社会学政策科学的な面からアプローチすることを期待しています。

さがわ たつゆき
佐川 龍之 准教授
リモートセンシング
人工知能
画像処理



今は多くの情報が溢れていますが、その中から重要な情報だけを選び出すのは簡単ではありません。大学で様々な教養や情報を分析するための基礎知識を学び、自分が本当に必要とする情報を集める力を身につけましょう。

とくだ ゆうき
徳田 悠希 准教授
古生物学
深海生物学



現在の地球環境の成り立ちを理解し、未来の環境を予測するためには、過去を知る必要があります。私は化石や地層を調べることで、大地に刻まれた地球の歴史を読み解いています。一緒に地球環境の過去と未来を考えてみませんか？

こうだ しの
甲田 紫乃 准教授
エネルギー科学
グループ・ダイナミクス
環境社会心理学




当事者と研究者との協同的実践による活動を通して現状を改善する研究を、様々な分野(環境活動、環境教育、環境芸術など)で、学際的に行っています。地球や地域に貢献したい人、環境問題に取り組みたい人をお待ちしています。

**地域イノベーション研究
センター長**

**人間形成教育センター
副センター長**

よしなが いくお
吉永 郁生 教授
海洋微生物学
微生物生態学



海の生態系は地球環境に大きな影響を及ぼしています。そして海の生態系は、植物プランクトンなどの微生物が主役です。陸地に住む我々にはなじみが薄い海からの視点、そして微生物の視点から、これからの地球環境を考えてみませんか？

かさぎ てつや
笠木 哲也 教授
植物生態学
送粉生態学



陸上植物の7割は送粉(花粉媒介)を昆虫に依存しています。そこで、送粉昆虫の種類や行動に着目しながら、植物の生態的特性及び交配システム進化について研究を進めています。まずは野外に出て、植物や昆虫の種名を覚えることから始めましょう。

なかじ ひろゆき
中治 弘行 教授
建築構造
耐震構造
木質構造



日本には、古くから身近な材料として木材など自然にある素材を活用して、居住環境や生活に必要なものを築ってきたという歴史があります。建物を構成する材料の木と土、それに必要な大工・左官技術、建造物の耐震安全性に関する研究を行っています。

しげた よしのり
重田 祥範 准教授
局地気象学
生気象学 環境工学
地学教育



私たちは様々な大気環境の中で生活しています。周囲を取り巻いている大気の温度(気温)は測定することが困難なものの一つです。気温を測ってみたい人、そして大気の流れ(風)を見てみたい人、私と一緒に多彩な気象観測を楽しんでみませんか？

やまぐち そう
山口 創 准教授
農村計画学
農業経営学



私の専門は農村計画学で、農村が抱える課題の解決や持続的発展の方策について社会科学的視点から研究しています。現在の農村には、解決すべき課題が山ほどあります。一緒に20年後、30年後の農村をデザインしましょう。

たにぐち はるか
谷口 晴香 講師
霊長類学
動物行動学
生態人類学



人と野生動物の共存を実現するためには、まずは動物たちのことをよく知る必要があります。座学だけでなくフィールドにでて生態系の構造や野生動物の生態・行動を学び、そして彼らと共存していく道を共に模索しましょう。

きむ きんよる
金 相烈 教授
廃棄物工学



近年は資源やごみの埋立地の枯渇問題、環境汚染の問題などが深刻となり、大量生産、大量消費、大量廃棄型社会から循環型社会への転換が緊急の課題となっていますが、これららの問題をじっくり考え、解決策をともに考えてみませんか？

おいだ ともみ
老田 智美 准教授
建築計画
福祉のまちづくり
建築ユニバーサルデザイン




人生100年時代の今、仮に病気や事故でからだか不自由になっても、仕事をし、余暇を楽しむ「わからない生活」を送ること、そしてそれを可能にする「住み続けることができる環境」が必要です。家族のこと、未来の自分のことを想像しながら一緒に研究しませんか？

かとう さだひさ
加藤 禎久 准教授
緑地計画学
エコロジカル・プランニング
グリーンインフラ




洪水や土砂崩れなどの被害を抑え、レジリエントな社会を構築するには、従来の土木インフラを補完する形で自然の恵みを活かしたグリーンインフラの活用が求められています。一緒に気候変動に適切した緑地・ランドスケープ計画を考えてみませんか？

また たつお
前田 哲雄 教授
道徳教育
学校経営



教職は子どもと(とも)に学び俱に進むやりのあるものです。本学においても、中学・高校(理科)の教員免許が取得できます。環境の世紀と言われる今、本学で学びそれを学校教育で活かしてみませんか？

ちよにしお ゆうじ
千代西尾 祐司 教授
学習指導
ICT活用による教材開発



「学び」というものの考え方が変わってきています。「教え・教えられる」という姿から「学ばせ・学ぶ」という、学ぶ人が主体となる学びを作るために多様な知見を学びます。ICT端末も学びの道具として使い、より良い学びを作るために、いろいろな方法を一緒に考えましょう。

副学長補佐

おおた たろう
太田 太郎 准教授
水産資源生物学
漁業制度
地域連携



豊かな鳥取の自然の中で沢山の経験を積みながら、楽しく学んでいきましょう。私は海や川をフィールドとした研究をしています。解らないことが山積み。新発見の喜びを分かち合ひましょう。

やまもと あつし
山本 敦史 准教授
環境化学
分析化学



皆さんの家のトイレ、キッチン、お風呂などからの生活排水は、下水処理場、浄化槽などの処理施設で処理され、一定の水質を確保した上で、公共用水域に排出されます。水質保全、水処理、汚泥処理の仕組みについて一緒に学びましょう。

とがり たけと
戸 莉 丈仁 准教授
水処理
汚泥処理
水質保全
下水道工学



皆さんの家のトイレ、キッチン、お風呂などからの生活排水は、下水処理場、浄化槽などの処理施設で処理され、一定の水質を確保した上で、公共用水域に排出されます。水質保全、水処理、汚泥処理の仕組みについて一緒に学びましょう。


教職課程

ふじた えつこ
藤田 恵津子 教授
臨床心理学
発達心理学



カウンセリングにおいて、語りのプロセスがこころの回復に寄与することを研究しています。また、「こころ」の健康に関する心理教育は、カウンセリングと同様に大切なことであり、現在、学校園や社会人向けの研修などで取り組んでいます。

かわぐち ゆみこ
川口 有美子 准教授
学校経営学
教育行政学



教育原理や教育の制度と経営、教育行政学などの科目を開講しています。授業では、教育という社会的な営みについてマクロからミクロな視点まで、様々な角度から迫り、「教育学」の探究を試みます。

特別サイト
さらに詳しい内容を
紹介しています





鳥取県若桜町 × 山口(創)ゼミ

合言葉は「栽培から販売まで」！ エゴマの特産化と 町のファン作り。

鳥取県の東南端にある若桜町では耕作放棄地などでエゴマが栽培されており、有限会社若桜農林振興を中心に地域の特産化を目指しています。ところが、安価な外国産の存在や市場の飽和、人手不足など壁もたくさん。そこで、山口創准教授のゼミでは「栽培から販売まで」を合言葉に、エゴマの特産化に挑戦。地域の方たちと一緒に農作業をし、想いを聞いて、若い世代にどう売るか？を考えて実践してきました。今ではエゴマをきっかけとした、若桜町のファン作りにもチャレンジ中です。



鳥取県栽培漁業センター × 佐川ゼミ

「海のゆりかご」を護るため、 ドローンや潜水で調査！

海藻が茂り、生き物の餌場になるだけでなく、産卵や保育の場にもなるため「海のゆりかご」とも言われる藻場。「保全の必要があるのに場所の特定が難しいのです」と佐川龍之准教授は話します。2023年からは鳥取県栽培漁業センターと藻場の調査に乗り出しています。衛星リモートセンシングによって収集された画像データの解析、水中ドローンや季節によっては学生を伴ってシュノーケリングで現地調査も。県の貴重な水産物の保護に貢献しています。



菌興椎茸協同組合 × 門木ゼミ

無数の椎茸用のフタがゴミに…。 ゼミ生が課題解決に挑戦！

鳥取市にあり、原木椎茸栽培を推進する菌興椎茸協同組合。原木椎茸栽培では原木に穴を開けて種菌を植え、ほだ場などの野外に設置します。その種菌の保護のためフタをします。そのフタが後にゴミになってしまうという問題に取り組んできたのが、門木秀幸准教授とそのゼミ生です。門木准教授によると「技術ありきではなく、地域の方の課題ありきの案件なので学生達のモチベーションに繋がります」とのこと。環境にやさしいプラスチックを製造する兵庫県のメーカーとも連携して、じっくりと課題解決に当たっています。



鳥根県美郷町 × 重田ゼミ

天気予報ならぬ雲海予報！？ 目指すのは 自然環境を利用した観光地化。

雲が広がってまるで海のように見える希少な自然現象、雲海。局地気象学が専門の重田祥範准教授は独自の解析方法を駆使して、鳥根県美郷町で天気予報ならぬ「雲海予報」を発表しています。2年次の「自然環境保全実習・演習A」では、学生とともに現地の展望台で出張講座も開講。雲海発生メカニズムをわかりやすく伝えていきます。近年では、自治体の観光振興課と連携することで山間部の無名な展望台を観光地として確立し、観光客の誘致に成功しているとともに、関係人口の増加も目指しています。



経営学部 [経営学科]

ビジネスの最前線へ!



Feature 学部の特徴

人材・組織をはじめ自分自身の行動にも関わるマネジメント能力。本学部では多様なビジネス社会で活躍するために必要なマネジメント基礎力を養うとともに企業、地域、国際、情報の視点から経営学を修得します。これからの日本や世界のビジネス社会で求められる提案力や実行力を養成します。



企業経営分野

企業経営に関わる
思考力・判断力を身につけたい



会計・ファイナンス分野

経営課題の解決に
金融の知識を活かしたい



地域経営分野

人が交流できる仕組みを考え
地域を活性化したい



経営情報分野

コンピュータ・AI・データサイエンス
を体系的に学びたい



経営と環境2つの視点

環境について配慮した活動が企業にもとめられています。経営学部在籍しながら「環境」の視点からも学べることは、将来活躍するうえで大きな力となるはずです。



世界へ発信する英語力

市場を世界まで広げる時、何ができるか、何を行うべきかを考えられるよう、英語スキルの向上にも取り組んでいます。



現場を知る 産学協働による活動

経営の知識は将来、幅広く活かすことができます。興味を広げる機会を多く設けます。経営者の講演会をはじめ、企業と連携して課題解決に当たるなど、現場に触れるなかで成長することができます。



情報を活用する コンピュータスキル

企業が生き残っていくために情報は欠かせない要素です。そのため、プログラミングやシステムなどのコンピュータスキルについても実践的に学修します。



国内外での実践的な フィールドワーク

鳥取県内を中心に学生が企業経営者や地域の方と関わります。また、学びのフィールドは国外にも広がり、世界的な企業、環境に配慮した事業に取り組む企業を訪問し、ビジネスの最前線を体験します。

学部長メッセージ

学修の幅を広げて専門性を備えたジェネラリストへ

経営学部では、環境学部との相互履修を通じて環境学の基礎を学修しながら、経営学の専門分野を学ぶことができます。1年次では「SDGs基礎」のような総合教育科目を、2・3年次では「環境経済学」や「環境経営論」などの専門科目を設けています。また、学修の幅を広げる制度として副専攻もあります。環境学だけでなく、英語実践AI・数理・データサイエンスなど、それぞれの関心に合わせて選択し、キャリアデザインに活かすことができます。そのうえで皆さんには専門性を備えたジェネラリストを目指してほしいと思います。先行き不透明な時代を生きるためには、得意分野を持ちながら物事を俯瞰的にとらえる力も必要です。さらに、保険、年金など生活力にかかわる知識や視点も大事にしましょう。経営学部にはそうした学びも充実しています。



模擬授業
公開中! 大学の授業の様子、環境学部の学修内容を模擬授業動画として公開しています。ぜひ視聴ください。

吉田 高文 教授

経営財務論、企業経済論



CURRICULUM カリキュラム

多様なビジネス社会で活躍するための 原動力、マネジメント能力を養います

経営学部では、企業や団体等の経営や運営をリードできる人材の輩出を目指し、会計、ファイナンス、地域経営の分野について一層の充実を図っています。「企業などの組織や地域における経営の様々な課題に挑戦し、その解決について具体的に提案・実行できる人材の育成」という教育目標を実現するため、授業科目を人間形成科目と専門科目の科目群に分類し、効果的な教育課程を系統的に編成。効果的な学修のため、新たな教育手法を積極的に導入するとともに、問題解決に有用な多様なアプローチを修得する機会を提供します。

<p>経営全般を理解し マネジメント基礎力を 身に付けます。</p>	<p>会計や金融・ファイナンスに 関する専門性と 実務能力を養います。</p>	<p>地域課題を見つけ 分析する能力と 振興策のあり方を学びます。</p>	<p>企業戦略への 情報技術の活かし方を 実践的に学びます。</p>
--	---	---	--

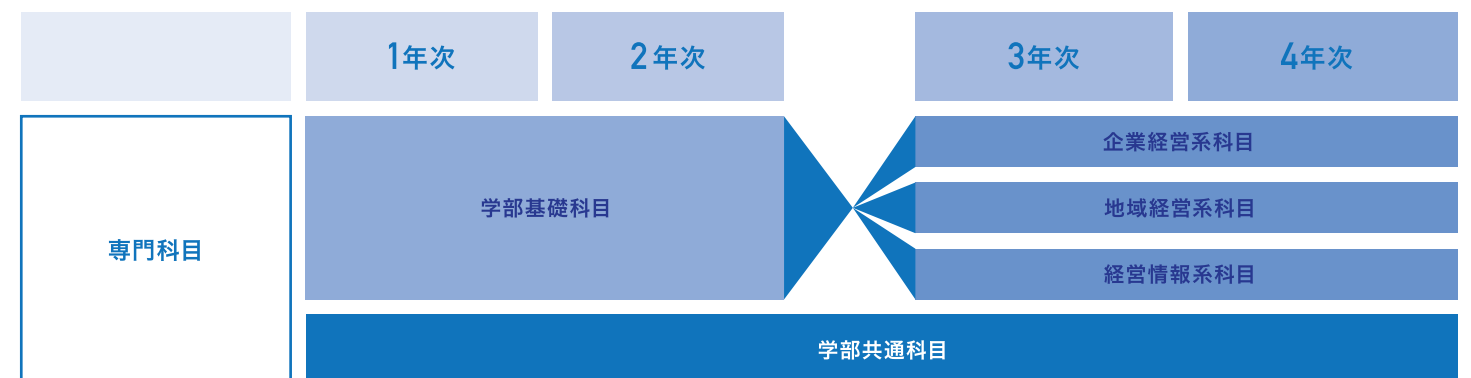
学修分野

<p>企業経営 P27へ▶</p>	<p>国内外で活躍できる人材へ。経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えた、グローバル時代に対応した能力の修得を目指します。</p> <p>進路イメージ 民間企業等(製造業、サービス業、流通業等)で企画、管理、営業等の中核業務を担います。</p>
<p>会計・ファイナンス P28へ▶</p>	<p>専門性を備えたジェネラリストへ。経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得を目指します。</p> <p>進路イメージ 金融機関や民間企業の財務部門で会計や金融に関する専門性を活用した業務。専門性を磨き、税理士や会計士等の専門職を目指します。</p>
<p>地域経営 P29へ▶</p>	<p>地域のさまざまな課題を理解し、経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得を目指します。</p> <p>進路イメージ 地域経済の中心となる民間企業の中核を担う業務・地方行政や地域の経済団体等の地域振興政策に関わる業務を担います。</p>
<p>経営情報 P30へ▶</p>	<p>経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得を目指します。</p> <p>進路イメージ 民間企業や行政機関で情報管理部門の業務や、情報を活用し分析や意思決定に関わる業務を担います。</p>

	1年次	2年次	3年次	4年次
人間形成科目	<p>【総合教育科目】 ○現代と人権 ○日本国憲法 ○鳥取学 ○現代社会と健康 ○スポーツ実技 ○文章作成1・2 ○数理基礎 ○特別講義A ○特別演習A~C ○文学 ○地理学入門 ○SDGs基礎 ○環境学概論 ○環境と文明 ○自然環境保全概論 ○循環型社会形成概論 ○人間環境概論</p> <p>【外国語科目】 ○Intensive English1~4 ○英語活動A・B ○海外英語研修A~C ○海外語学実習A・B ○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B</p> <p>【情報処理科目】 ○情報リテラシ1・2</p> <p>【キャリアデザイン科目】 ○キャリアデザインA ○基礎インターンシップ</p> <p>【総合演習科目】 ○プロジェクト研究1・2</p>	<p>【総合教育科目】 ○特別講義B ○離散数学 ○データ構造とアルゴリズム ○計算機の基礎 ○AMD実践演習A・B ○人間居住論 ○環境と倫理</p> <p>【外国語科目】 ○Intensive English5~8 ○中国語1・2 ○韓国語1・2 ○ロシア語1・2 ○Advanced English1~8</p> <p>【キャリアデザイン科目】 ○キャリアデザインB</p> <p>【総合演習科目】 ○プロジェクト研究3・4</p>	<p>【総合教育科目】 ○麒麟の知 ○AI ○画像処理 ○AI実践演習 ○パターン認識</p> <p>【外国語科目】 ○英語特別講義A~D</p>	
学部基礎科目	<p>○経営学入門 ○会計学入門 ○現代経済学入門 ○商業簿記2 ○統計学入門 ○経営戦略論1 ○商業簿記1 ○ミクロ経済学 ○情報システム基礎 ○プログラミング</p>	<p>○経営組織論1 ○マーケティング1 ○商業簿記2 ○財務会計 ○管理会計 ○ファイナンス入門 ○マクロ経済学 ○金融論 ○インターネット ○地域経営論 ○経営情報論</p>		
学部展開科目		<p>○経営戦略論2 ○経営組織論2 ○マーケティング2 ○日本経済論 ○経営分析</p>	<p>○人的資源管理論 ○商品開発論 ○ブランド論 ○事業創造論 ○原価計算論 ○税務会計 ○監査論 ○コーポレート・ファイナンス ○リスクマネジメント ○経営倫理 ○ビジネス・エコノミクス ○金融市場論 ○証券論</p>	
地域経営系科目		<p>○地域経済論 ○公共経営論 ○流通論</p>	<p>○地域政策論 ○地域産業論 ○公共政策論 ○中小企業経営論 ○地域マーケティング ○非営利組織論 ○コミュニティビジネス論 ○観光経営論 ○地域振興論 ○農業経営論</p>	
経営情報系科目		<p>○データサイエンス ○データサイエンス実践演習</p>	<p>○経営情報システム ○システム監査 ○データベース ○情報産業論 ○プロジェクトマネジメント ○経営工学 ○生産管理</p>	
演習科目			<p>○ワークショップ ○インターンシップ ○専門演習1・2</p>	<p>○専門演習3</p>
学部共通科目	<p>○微積分学 ○線形代数</p>	<p>○経済史 ○西洋経営史 ○国際経済論 ○国際関係入門 ○環境経済論 ○社会調査法 ○民法1・2 ○Case Analysis ○経営学特別講義A</p>	<p>○日本経営史 ○国際経営論 ○アジア経済論1・2 ○アジア環境論 ○共生経営論 ○環境経営論 ○社会経済と人口 ○データ解析 ○情報倫理 ○企業法概論 ○経営学特別講義B・C</p>	

※上記の科目は、2024年4月のものです。変更になる場合があります。

◎必修 ○選択・自由





なにが学べる？

経営管理や経営戦略などの基礎に加え、
起業などに必要な知識を学べます。

経営学に関する専門性と経済に関する幅広い視野を備えたグローバル時代に対応する能力の修得を目指します。主に一般企業や団体の企画・管理・営業などに必要な基礎力を養成します。

Pickup 研究室

マーケティング思考を身に付け、社会課題も解決へ。

「マーケティング」と聞くと「モノを売ること」だと思う人が多いのですが、私は「価値提供」が本質だと捉えています。世の中にどんなニーズがあるのかをまず掴み、そこから逆算してどのような価値を与えられたらいいのかを考えるのです。研究室では鹿肉を通して、ジビエをPRする活動をしてきました。ジビエの価値を伝える活動をしながら、本学や鳥取県の魅力や価値も発信。マーケティングの考え方を社会課題の解決にも応用する、ソーシャルマーケティングを実践しています。このゼミで学ぶことであらゆることを顧客目線で考えるマーケティング思考が身に付くはず。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています



竹内 由佳
准教授
マーケティング / 消費者行動



特徴的な科目

- ・ 経営学入門
- ・ マーケティング1・2
- ・ ブランド論
- ・ ビジネス・エコノミクス
- ・ 経営戦略論1・2
- ・ 人的資源管理論
- ・ 事業創造論
- ・ 経営組織論1・2
- ・ 商品開発論
- ・ 経営倫理

ゼミレポート 鹿肉をもっと身近に！の掛け声で大学祭に出店して調査。

ゼミに入る前、竹内先生の授業で地域マーケティングという考えに触れました。自分は鳥取市出身なのに地元の全く知らない活動が学べて刺激になり、マーケティングに興味が出て、竹内ゼミに入ることを選択しました。まず「鹿肉をもっと身近なものにしよう！」というテーマに取り組み、ミートボールのレシピを考案して学園祭のブースに出店。色々な方の意見を聞きました。地元のスーパーマーケットで、子育て世代向けのお弁当開発をしたのも貴重な経験となっています。地産地消を子どもに伝えるため、イベントで自作の紙芝居を披露したこともありました。小さな子が一生懸命聞いてくれてやりがいを感じましたね。大学のゼミと言うと堅苦しいイメージを持つかもしれませんが、竹内ゼミはいつも賑やかで毎回楽しみです。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

竹内ゼミ 大原 範之 さん 鳥取県出身



POINT

- 01 | 財務・会計の学びは資格につながっています。
- 02 | 金融機関などへの就職に役立つ資格取得を目指します。
- 03 | 税理士や公認会計士など専門家への道も開けます。

取得目標資格

- 公認会計士
- 税理士
- 簿記検定
- ファイナンシャルプランナー
- など

なにが学べる？

会計や金融・ファイナンスに関して
基礎から専門的な知識まで幅広く学べます。

経営学の中核的な素養と会計や金融・ファイナンスに関する専門性を備え、実務に活用できる能力の修得を目指します。一般企業や団体のほか金融機関等での業務、税理士・公認会計士といった専門家を目指すための基礎力を養成します。

Pickup 研究室

会計が本来持っているパワーに気付いて欲しい。

「管理会計」は企業内部の戦略の意思決定や業務コントロールに必要な情報を提供してくれます。また、それは原価計算によって算出された情報を活用して、企業活動をプランニングするマネジメントツールでもあります。一方で、ただ便利なツールとして使うだけではもったいない側面も。会計事象の背後にある経済や政治状況を合わせて考えることで、もっと快適にカスタマイズすることもできるし、そういう余白が実はあるのです。私の研究室では、会計が持っている底力に気付いてもらい、会計を使いこなすための考え方もお伝えします。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています



川崎 紘宗
准教授
管理会計 / 会計史



特徴的な科目

- ・ 会計学入門
- ・ ファイナンス入門
- ・ 税務会計
- ・ 金融市場論
- ・ 商業簿記1・2
- ・ 金融論
- ・ 監査論
- ・ 証券論
- ・ 財務会計
- ・ 経営分析
- ・ コーポレート・ファイナンス
- ・ 管理会計
- ・ 原価計算論
- ・ リスクマネジメント

ゼミレポート 人間性に惹かれて選択。行政のマネジメントシステムを深掘り。

もともと経営学部を目指していましたが、副専攻制度で環境学部の授業も受けられることに魅力を感じて環境大に進学しました。2年次の「プロジェクト研究」という授業を担当してくれたのが川崎先生。研究テーマにも関心がありましたが、学生に寄り添ってくれる人間性にも惹かれて川崎ゼミを選びました。ゼミは管理会計の書籍を輪読するところから始まります。私は行政におけるマネジメントシステムに興味を持ちました。アメリカやオーストラリアと比べると、日本のシステムは遅れているように感じ、それを研究で深めることに。発表のたび参考になる文献を薦めていただけるので、知識が積み上がっていく感覚があります。今後は行政システムの改善点を指摘するだけでなく、建設的な提言もできるようにしたいです。



特別サイト
さらに詳しい内容を紹介しています

川崎ゼミ 山梨 裕生 さん 静岡県出身



地域経営分野



なにが学べる？

地域の課題を見つけて分析する力と振興策のあり方を実地で学べます。

経営学の専門性を地域の経済・社会の振興に活用できる能力の修得を目指します。地域経済の中核となる一般企業や地域行政・地域団体での業務に必要な基礎力を養成します。

Pickup 研究室

まず現場に行く。そんなフットワークの軽さを。

農業の生産者にとって消費者はもちろん重要ですが、卸売やJAなど農業関連産業、いわば協力者の存在も欠かせません。それらが一体となって地域を盛り上げるためにはどうすればいいのかが研究しています。最近では持続可能な農業経営が求められ、地域全体で取り組む事例も増えてきています。学生の皆さんには、疑問があったらまず現場に行くフットワークの軽さを持ってもらいたいです。情報はインターネットや本より何より自力で収集するものです。興味を持ったら、自分で確かめないと納得しない。そんな学生にぴったりの研究室かもしれません。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

特徴的な科目

- ・ 地域経営論
- ・ 地域政策論
- ・ コミュニティビジネス論
- ・ 農業経営論
- ・ 地域経済論
- ・ 地域産業論
- ・ 観光経営論
- ・ 国際経営論
- ・ 日本経済論
- ・ 公共政策論
- ・ 地域振興論
- ・ 公共経営論
- ・ 地域マーケティング非営利組織論

ゼミレポート 旅行好きなので交通をテーマに。情報収集のため現地入りも。

高校生の時に参加したオープンキャンパスの模擬授業で、地域振興のことを知って興味を持ちました。もともと社会科が好きだったこともあったかもしれません。1、2年次に地域経営の授業を受けてやはり楽しかったことから、山口ゼミを第一希望にしました。前期は文献を輪読し、知識の土台を作りました。私は旅行や鉄道が好きだったことから、交通というテーマを深めることに。中でも北陸新幹線開通による地域への影響を掘り下げることにしました。データの収集が大変で、数字をどう読み解くかも難しいと感じます。先生から「情報が揃わない部分は自分で調べよう」と提案されたので、現地に行ってリアルな声を聞こうと思っています。先生が自分のイメージをいつも具体化させてくれるので、本当に助かっています。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

山口ゼミ

宮原 直宏 さん 岡山県出身



経営情報分野



POINT

- 01 | 情報技術への理解とデータ分析力を養います。
- 02 | 情報システムを経営に役立てる方法を学びます。
- 03 | 企業の立場から情報システムを実際に構築します。

取得目標資格

基本情報技術者 ITパスポート など

なにが学べる？

経営学と情報技術の確かな知識とシステムを社会に役立てる方法が学べます。

経営学に関する専門性と情報技術への理解やデータの分析力を兼ね備え、ビジネスに情報通信技術を活用できる能力の修得を目指します。一般企業や団体における情報処理系業務に関連した基礎力を養成します。

Pickup 研究室

ツールを自在に操るために必要な「システム思考」。

私たちの生活において、今やスマートフォンなどのデバイスは欠かせないツールになっています。こうしたデジタルツールは使い次第でもっと効率的で、便利で、楽しいものになる可能性があります。新たなソリューションを考える際のポイントは3つあります。1つ目は俯瞰で見ること、2つ目は構造を理解すること、3つ目は論理的になること。以上を踏まえた「システム思考」で情報活用の方法をデザインすることが求められています。ゼミ生の皆さんには直観力を大事に、興味のあることを何でもやってみて欲しいと思います。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

特徴的な科目

- ・ 統計学入門
- ・ 経営情報システム
- ・ データサイエンス実践演習
- ・ 情報システム基礎
- ・ システム監査
- ・ 情報産業論
- ・ プログラミング
- ・ データベース
- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ インターネット
- ・ データサイエンス
- ・ 経営工学

ゼミレポート 観光、猫、映画、音楽。テーマが多岐にわたるのが面白い。

環境を視野に入れた経営のことが学びたくて、環境大の経営学部を選びました。染谷先生のDX(デジタルトランスフォーメーション)の授業は、身近な事例だからこそ盲点になっていた事例が豊富で新鮮でした。染谷ゼミはテーマ設定が自由で、観光や保護猫活動、映画などゼミ生によって全く内容が異なるのが面白いところ。小さな頃から音楽が好きだった私は「音楽フェスティバルによる地域活性」をテーマに設定しました。鳥取県は「蟹取県」や「星取県」などPRを積極的に行っています。ここに新しい取り組みを足せたらもっと観光客で大賑わいする可能性があると感じます。イベントの主催者などに聞き取り調査を行い、自分なりの知見を深めたうえで、鳥取県に対して経済効果のある具体的な提案ができるようになるのが今の目標です。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

染谷ゼミ

福谷 楓 さん 兵庫県出身



TEACHING STAFF AND RESEARCHERS

経営学部 教員紹介

経営学部長
よしだ たかふみ
吉田 高文 教授
経営財務論
企業経済論



経営を学ぶことによって、様々なしくみが見えてきます。会社のしくみ、生産のしくみ、販売のしくみ。また、わたくしたちの生活と企業との関わり、環境問題と企業との関わりなどの相互関係も重要です。一緒に経営学を勉強しましょう。

副学部長
たけうち ゆか
竹内 由佳 准教授
マーケティング
消費者行動
流通



私たち消費者は、我儘で騙されやすく、熱中しやすく、そしていろいろな出来事に影響される存在です。企業にも、何が消費者にとって「流行る」「ウケる」商品なのかわかりません。じゃあ、消費者って一体なんだろう？ ぜひ、一緒に考えてみましょう。

やなぎ としや
柳 年哉 特任教授
会計学
財務会計
監査論(内部統制監査)



企業活動の成果は財務数値により表現されます。財務数値を作成する人・利用する人たちにとっては、会計知識は必修です。また、会計知識は、経済を深く理解することにも役立ちます。本学で会計の基礎から勉強しましょう。

みつ やま ひろとし
光山 博敏 教授
技術経営
技術戦略
イノベーション戦略



ボーダーフリー(国境のない)時代を迎え、ゼロから新しい何かを創造できる人への価値が高まっています。高校時代から自分の頭で考え、何事にも能動的に取り組む姿勢を身につけてください。

ゆ せい か
俞 成華 教授
経営学
(人的資源管理論、国際経営論)



大学生活において学ぶことの楽しみを存分に実感してください。4年間が充実した大学生活にするために、自分の好きなことに精一杯チャレンジし、最後までやりきることが大切です。大学での学びを通じて社会人基礎力を身に付け、地域や国際を舞台に活躍できる人材になることを期待しています。

たにぐち けんじ
谷口 謙次 准教授
経営史
経済史



歴史には常にストーリーがあります。徳川家康のような個人が活躍することもあります。社会の変化や経済の発展にもストーリーがあります。社会が変わる道筋や経済発展の姿などを追っていくと、「暗記」を超えた歴史の面白さに出会えるでしょう。

**AI・数理・データサイエンス
教育研究センター長**
さいとう てつ
齊藤 哲 教授
経営工学
プロジェクトマネジメント



経営工学やプロジェクトマネジメントは、社会に出てすぐに役立つ、実践的な学問領域です。講義・演習では、単に理論や方法論を学ぶだけではなく、実際に「手を動かす」演習を通して、実務に活かせる力を身につけます。皆さん、一緒に学びましょう。

**副学長
学生支援センター長**
なかやま じつろう
中山 実郎 教授
民法
企業法
消費者法
他



大学は学びや研究の場であると同時にたくさんの友と出会う場でもあります。勉学や課外活動そして学友との語り合いに充実した学生生活を過ごしてください。私も皆さんの応援団として精一杯サポートします。

人間形成教育センター長
いま い まさかず
今井 正和 教授
情報の収集と蓄積
可視化



皆さんの夢は何ですか？ 大学は自分の夢を実現するための通過点だと思います。人生の夢を見つけるために必要な知識を身に付け、それを基にして新しい、一生の夢を大学生のうちに見つけてください。

りえん いーびん
連 宜萍 准教授
国際経済
経済発展論
多国籍企業



アジアの経済発展はどんな特徴を持っているか、日本はアジアの経済発展にどんな役割を果たしているか、産業発展を担う個々の企業はどんな戦略を取り、多国籍企業間のネットワークはどう形成されたか。アジアの経済・産業・企業について勉強します。

**地域イノベーション
研究センター副センター長**
くらもち ひろみ
倉持 裕彌 准教授
地域社会学
まちづくり論



地域は再生しなければならないもの、と思っていまませんか？その前に私たちはどうして地域再生が目指されるのか、そもそも地域再生とは何か、を考える必要があります。そのためには経済、社会、文化など多様な視点から検討することが大切です。

やまぐち かずひろ
山口 和宏 准教授
地域振興論
農業経済学



普段、見慣れているものや、当たり前すぎて深く考えていなかったものの奥には、実は知らなかった「新しい何か」が隠れているかもしれません。その「新しい何か」に触れる楽しみをぜひ実感してください。

そめ や ほろし
染谷 治志 教授
情報システム学
システム工学



観察を通じた仮説構築と検証を重視した「システム思考アプローチ」で、私たちの身の周りにある「はてな？」を分析・理解し、社会生活をより安心・安全・豊かにする「いいね！」をデザインしています。

情報メディアセンター長
さいとう あきのり
齊藤 明紀 教授
情報工学
情報倫理
インターネット運用技術



コンピュータシステムの運用管理に関する研究をしています。講義はインターネット、コンピュータの基礎、情報倫理を担当しています。今やIT活用は現代の経営の重要課題です。情報システムの活用能力や目利き能力をぜひ身に付けてください。

いそ の まこと
磯野 誠 教授
マーケティング
新製品開発
ブランド
デザイン



顧客がはっとする、夢中になるような製品やブランドはどのように生み出すことができるのか。マーケティングとは顧客創造ですが、具体的にはこのような問題を扱う分野です。マーケティング課題の取り組みを通して、その難しさと楽しさを共有しましょう。

かわさき ひろのり
川崎 紘宗 准教授
管理会計
予算管理
会計史



会計は企業のみならず「お金」が関係する様々な所で用いられています。この会計に携わる人には、信頼できる適正な会計情報を提供するという社会的な責任があります。このような責任を果たすために必要な専門知識を修得しましょう。

たか い とおる
高井 亨 准教授
環境経済学
公共経営論
社会工学



学部時代は都市計画や環境科学を学んでいましたが、そのうち社会科学とくに経済学を学ぶ必要性に気づき経済学を専攻するにいたりしました。現在は、社会問題を工学的に分析しつつ、経済学の視点から持続可能性や環境の価値について研究しています。

しもさかい よしのり
下境 芳典 准教授
非営利組織論
公共経営論
地域政策論



経営学は企業の経営についてだけ学ぶものだと思われがちですが、その対象は、病院や学校、地方自治体、ボランティア団体なども含まれていて、とても幅広いです。色々な組織の経営を効率化するにはどうしたらよいか、一緒に考えましょう。

**副学長補佐・
就職支援センター長**
いしかわ まさみ
石川 真澄 教授
公共政策
経済政策
環境経済



企業活動を取り巻く経済全体の動きを読むために必要な「マクロ経済学」や現在のわが国の経済の姿と直面する課題について考える「日本経済論」などの講義を担当しています。経済と併せて学ぶことで経営学の理解も深まることでしょう。

あいかわ やすし
相川 泰 教授
東アジア国際関係
民間非営利環境協力



「今ここ」を理解するのに必要な手がかりの全てが「今ここ」にあるとは限りません。全く異なる場所の、全く異なる時代に、その手がかりがあるかも知れません。日々の新たな出来事や予測も含めて、広く長い視野を持つためのお手伝いをしたいです。

国際交流センター長
にしむら のりこ
西村 教子 教授
人口経済学
開発経済学



日本人口の減少に伴い、社会や経済はどんどん変化していくことでしょう。皆さんはこれからどのように働き、家族を作り、生活をしていくのでしょうか。このような人々の行動を意思決定の学問である経済学を使って説明しようと研究を進めています。

さとう あやこ
佐藤 彩子 准教授
地域経済学
経済地理学



グローバル化や少子高齢化、AI社会の到来等、社会はめまぐるしく変化しています。日頃から社会で生じている様々な現象に目を凝らして、「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と疑問を持ちながら、積極的に自ら学ぶ姿勢を大切にしてください。

いわた けんご
岩田 健吾 特任講師
環境経済学
エネルギー・経済
環境経営



気候変動などの環境問題への関心が高まっています。しかしどのように解決すればよいのかを知らない学生が殆どではないでしょうか。環境経済/経営学は、環境に纏わる諸問題に対して、経済学的なアプローチを通して解決策を模索する学問です。今日の社会において重要性を増している知識を共に学んでみませんか。



特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています



嘘つきとうふ × 平尾とうふ ×
山陰三ツ星マーケット × 磯野ゼミ

**地域の伝統行事の魅力を
どう伝える？
マーケティングで
地域価値創りを実践。**

鳥取ではかつて、豆腐を食べてその一年についたうそを帳消しにする「嘘つきとうふ」という伝統行事がありました。現代では廃れつつある中、これを鳥取のユニークな観光行事としてアピールできないか？そのような学生の思いつきから出発して、磯野ゼミは、鳥取でこだわりの豆腐づくりをする平尾とうふと協力し、「平尾とうふで嘘つきとうふ」マーケティングキャンペーンを企画しました。鳥取の良質なお店が集まる山陰三ツ星マーケットに混じって磯野ゼミも出店し、この嘘つきとうふという伝統行事を宣伝しつつ平尾とうふを販売、大盛況となりました。マーケティングで地域の価値を創ることができることを身をもって知ることができました。



八頭町男女共同参画推進会議 ×
西村ゼミ

**理論的アプローチを学んだら、
地域交流して現実に触れる！**

結婚や出産をするかしないか、仕事をどうするか、など一個人の選択と思われがちだが行動も経済学で説明できるケースがあります。西村教子教授が担当する3年次の「社会経済と人口」では、その理論的アプローチの一端を知ることができます。一方、理論だけではなく地域住民の実態にも触れるべく、八頭町男女共同参画推進会議の方々とディスカッションを実践。世代間や男女間ではもちろん、同世代間でも価値観が大きく異なることがわかるきっかけとなりました。



先進企業 × 齊藤(哲)ゼミ

**現場で確認！ものづくりの実際。
電気や製品を作るシステムを体感。**

発電所や工場といった巨大な設備を動かしているシステムは、どのように運用されているのでしょうか。電気機器メーカー出身で経営工学が専門の齊藤哲教授は「実際にどうなっているんだろう？と考え、現場に行って確かめようとする気持ちが大事」と言います。ゼミ生は鳥取県内外の工場などを巡り、ものづくりに欠かせないシステムが、どのような考え方で作られ、誰によって、どう運用されているのかを細かく確認します。このようにして、ものづくりには何が必要なのかを現場のシステムを通して理解できるようになります。



鳥取県伯耆町添谷集落 × 倉持ゼミ

**決めつけはNG！
集落のありのままを見るゼミ。**

「過疎地」と聞いたら、「衰退して元気がない場所」「再生させなければならぬ」などと私たちは決めつけがちです。地域社会学が専門の倉持裕彌准教授は、鳥取県西部の伯耆町の添谷集落と10年来的関係があり、学生達と訪れる際には「先入観で決めつけず、ありのままを見ていきましょう」とアドバイスしています。地域の活性化も大事ですが、色々な考えの人が色々な思いで土地に暮らしているという事実を知ること。まずはそこから始め、安易にスローガンを掲げないのが倉持ゼミのやり方です。



副専攻制度

複数の専門性を身に付けた
社会から求められる人材になる

これからの社会では多角的な視点を持ち、応用・必要な情報を活用する力を育成する「AI・数理・学」が「地域実践」といった5つの分野を体系的に

境界領域に強い人材が求められます。本学では副専攻制度を採用しており、「環境学」「経営学」の他に、「データサイエンス」、国際社会で必要となる英語力を育成する「英語実践」、鳥取に密着し在来知を学べます。主専攻とは別に、興味のある分野を学び、境界を越えた発想力を養います。



分野別副専攻

主専攻以外の専門分野とAI・数理・データサイエンス分野を設定しています。関連する科目を体系的に履修することで、各分野について学びを深めていきます。

環境学

経営学部生を対象に、主専攻と並行して環境と人間の関係などの基礎的な理解を深め、環境問題の全体像を把握し、主専攻に活かすことのできる知識を身に付けます。学部共通科目に加え、自然環境保全、循環型社会形成、人間環境の各分野の専門科目の一部を学ぶことで、環境学の中核的な内容を学ぶことができます。

科目名	1年次	2年次	3年次
学部共通科目	●自然環境保全概論 ●人間環境概論 ●循環型社会形成概論 ●環境と文明	○人間居住論 ○環境情報学概論 ○環境行政論 ○環境と倫理 ○環境法概論 ○環境政策論	○環境アセスメント概論
自然環境保全系科目		○生態学基礎 ○気象学概論 ○海洋環境学 ○森林科学概論	○保全生物学 ○基礎土壌学
循環型社会形成系科目	○廃棄物学入門	○環境とエネルギー ○応用微生物学概論 ○水環境工学1	○大気汚染防止 ○廃棄物処理技術
人間環境系科目			○景観計画と保全管理 ○地域生活文化論 ○都市の持続的発展 ○途上国の都市発展 ○エコハウス計画 ○木質構造計画 ○ジオパークと地域づくり

※経営学部生のみ受講可能

○必修 ●選択必修 ○選択 ※科目は変更になる場合があります。

経営学

環境学部生を対象に、主専攻と並行して企業などの組織や地域における経営の様々な課題に挑戦し、その解決について具体的に提案・実行するための基礎力を身に付けることを目標とします。経営学の初学者が体系的に学ぶ基盤となる内容を経営学部の学生と同等の水準で学ぶことができます。

科目名	1年次	2年次	3年次
学部共通科目	○経営学入門 ○商業簿記1 ○経営戦略論1 ○会計学入門 ○現代経済学入門 ○ミクロ経済学 ○統計学入門	○経営組織論1 ○管理会計 ○マーケティング1 ○商業簿記2 ○ファイナンス入門 ○マクロ経済学 ○財務会計 ○金融論	

※環境学部生のみ受講可能

○必修 ○選択 ※科目は変更になる場合があります。

AI・数理・データサイエンス

主専攻の知識に加え、AI、数理科学、データサイエンスについての基礎的な知識も備えた人材の育成を目標とします。膨大なデータをより有効かつ効率的に活用できる能力を養い、さらに基盤となる数理を理解することで、新たな技法および技術を自分の力で修得していく能力も養います。

科目名	1年次	2年次	3年次
基礎科目	○微分積分学 ○線形代数学 ○プログラミング ○統計学入門 ○数理基礎	○データサイエンス ○データ構造とアルゴリズム ○離散数学 ○インターネット ○計算機の基礎	○AI
展開科目		○データサイエンス実践演習 ○経営情報論 ○環境情報学概論 ○AMD実践演習A・B	○情報倫理 ○AI実践演習 ○データベース ○画像処理 ○環境データベース論 ○パターン認識 ○地球観測学

○必修 ○選択 ※科目は変更になる場合があります。

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」と呼ばれ、大学生の誰もが持つべき基礎的なものと捉えられています。本学ではこれらを体系的に学ぶために、レベルに応じて「リテラシー」と「応用基礎」の2つの教育プログラムを設けています。 ※2024年4月現在、本学は文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に申請中です。

プログラムの詳細はこちら▶



課題別副専攻

これからの社会で特に求められる素養として2つの分野を設定しています。将来の活動を支える考え方や発想力を築きます。

地域実践 (麒麟)

地域独自の「在来知」を学び、体験する中で課題を発見し、普遍的な「専門知」をうまく運用。地域課題に実践的に対処する力を身に付けます。また、「主体性」や「判断力」、他者を受け入れて問題解決に導く「多様性」や「表現力」なども身に付けるために、演習や地域連携活動などを行います。

科目名	1年次	2年次	3年次
基礎科目	○鳥取学 ○麒麟プロジェクト研究		○麒麟の知
演習科目	○基礎インターンシップ ○特別演習A-C	○鳥取グリーンベンチャー	○ワークショップ
地域志向科目	環境学部科目		○環境データベース論 ○地域エネルギーシステム論 ○漁業資源保全学 ○都市の自然環境形成 ○保全生物学 ○農村の持続的発展 ○森林政策論 ○歴史遺産保全論 ○バイオマス変換論
	経営学部科目		○地域政策論 ○コミュニティビジネス論 ○地域産業論 ○観光経営論 ○公共政策論 ○地域振興論 ○農業経営論 ○中小企業経営論 ○地域マーケティング ○非営利組織論 ○経営学特別講義B

○必修 ○選択 ※科目は変更になる場合があります。

英語実践

英語運用能力を高め、英語を用いる人々と不自由なくコミュニケーションができ、幅広いテーマについて明確で詳細な文章を作成できるようになることを目標とします。英語応用科目、英語発展科目、実際に英語が使えることを確認・実感する英語実践科目があり、段階的に英語力向上を目指します。

科目名	1年次	2年次	3年次
英語応用科目		○Advanced English 1-4	
英語発展科目		○Advanced English 5-8	
英語実践科目	○英語活動 A・B ○海外語学実習A・B ○海外英語研修 A-C	○Case Analysis	○英語特別講義A-D
学習支援科目	○基礎英語能力養成A・B ○応用英語能力養成A・B		

○必修 ○選択 ※科目は変更になる場合があります。

PickUp AI・数理・データサイエンス教育研究センター

データによる洞察、鋭い感性、自由な発想で社会課題の解決と新たな価値創造へ



センター長
齊藤 哲 教授

AI・数理・データサイエンスは、デジタル社会といわれる現代において、社会や企業に最も必要とされる分野のひとつです。本学が掲げるSDGsなどの「持続可能な社会の構築」には、高齢化・所得格差といった地域問題や廃棄物処理・カーボンニュートラルといった環境問題など、解決すべき複雑で多様な社会課題が数多く存在します。これらの社会課題の解決に向け、社会に存在する多種多様なデータの関係を読み解くデータ分析・利活用能力がますます重要になってきています。AI・数理・データサイエンス教育研究センターでは、(1)機械学習などのAI技術、(2)数理・統計学や情報学に関する知識、(3)ビッグデータなど多様なデータを収集・分析する技能の教育・研究を行います。また、地元の企業や行政機関との連携によって、実際にある社会課題を学生とともに洞察します。そうした経験によって、課題に対する鋭い感性と解決に向けた自由な発想を身に付け、さらにはデータに基づく合理的な意思決定で、新たな価値を創造する人材の育成を目指します。



人間形成教育

人間形成教育4つの科目群とプロジェクト研究

国際性から地域性、自然科学から社会科学、人文科学まで「知力」「人間力」「対応力」の土台をつくる幅広い学び

人間形成教育は、環境視点と経営視点を備えた「知力」と、英語でのコミュニケーションや地域の人々とのふれあいを通じた実践的な「人間力」養成のための学びです。人間形成科目は、「総合教育科目」「キャリアデザイン科目」「情報処理科目」「外国語科目」の4つの科目群と、「プロジェクト研究」という学内外をフィールドに行われる総合演習科目で構成されています。これらの科目により企業や地域のリーダーとして活躍するための土台を築きます。

人間形成教育センター教員紹介

センター長メッセージ

豊かな「教養」で人間の幹をたくして、
人生を楽しめる人間になろう

卒業してから新しい学問を一から学ぶことはよくあることです。それでも私たちが前進して行けるのは「教養」があるからです。本学では、その教養の土台となり、各々の専門性を深める力となるように4つの科目群と総合演習を設定しています。また、自分が所属する学部の学問分野だけではなく、在学中に幅広い分野の基礎を身に付けられる副専攻制度も設定しています。本学で素晴らしい人生の一步を踏み出しましょう。

いまい まさかず
今井 正和 教授 情報の収集と蓄積 / 可視化



人間形成教育センター副センター長

あら た てつじ
荒田 鉄二 教授
環境哲学
文明論 / 持続性論



自分の人生を自分で決めるという観点からすると、その中で自分が生きる世界がどのようなものであるのかわかっていることが大切でしょう。幅広く人間形成科目を学ぶことを通じて、大まかではあるにしても現代社会の全体像を示す、いわば「地図」を身に付けましょう。

人間形成教育センター副センター長

くぼ すすむ
久保 奨 准教授
オペレーションズ・リサーチ
応用数学 / 統計学



データを活用したビジネスや政策立案が求められており、データを収集・処理・分析する力が重要になっています。データや数理を使って、様々な問題課題の解決に向けて、一緒に考えていきましょう。

地域イノベーション研究センター長

よしなが いくお
吉永 郁生 教授
海洋微生物学 / 微生物生態学



大学では知識を自由自在に運用することを学びます。現代の環境学や経営学が直面する課題には必ずしも定式がありません。我々は1つ1つの課題に、広範な知識を総合的に運用することで答えを導き出します。まずは身の回りの小さな出来事に注意を払うことから始めてみてください。

いわた なおき 岩田 直樹 特任教授

数学教育
教育学



江戸時代と明治時代を生きた福沢諭吉は「一身にして二生を経るが如し」という印象的な言葉を遺しています。人生100年時代、皆さんは「二生」どころか「三生」、「四生」を歩んでいくと思います。変化を楽しむ心、変化に対応できる人間力を培ってください。

なかむら ひろこ 中村 弘子 教授

英語教育
応用言語学



Intensive Englishでは、基本的に英語で授業を行い、4技能の向上を目指します。英語村とも連携して、様々な文化的背景を持つ教員やスタッフとコミュニケーションを取ることで異文化理解を深め、国際共通語としての英語の実践力を高めます。

とくやま みずふみ 徳山 瑞文 教授

英語教育



"There are so many different varieties of English that there is really no such thing as 'English' -- there is only 'Englishes.'" Please enjoy communication with more people around the world in your 'English', no need to worry about your mistakes.

よしだ さとる 吉田 聡 教授

数理論理学



私は数学的定理に対する証明の論理に注目し、コンピュータによる実行の仕方を明らかにする証明(構成的証明)を考察しています。学生の皆さんと、社会とコンピュータ、そしてその背景にある数理について学んでいきたいと思っています。

バンヴィル ショーン BANVILLE, Sean 准教授

英語教育
英語言語



Hello everyone. Welcome to Intensive English. I'm your Listening and Speaking coordinator. All our teachers are working hard for you. Your English classes will help you to improve your communication skills. Your hard work in class will help you a lot in your future. I look forward to meeting you, and to seeing you succeed at TUES.

いちまる なつき 市丸 夏樹 准教授

自然言語処理
計算言語学



今日では、インターネットを通じて世界中の人々とのコミュニケーションが可能になっています。情報リテラシー科目では、コンピュータの操作から、サイバーセキュリティまで、現代のネット社会での生活に欠かせない実践的な知識と技能を身に付けます。

サステイナビリティ研究所副所長

ほり まい や
堀 磨伊也 准教授
パターン認識・機械学習



近年、ビッグデータが容易に取得できるようになり、人工知能は日常生活において活用されています。ここで必要となる数理的思考やデータ分析・活用能力を磨き、社会における様々な問題を解決し、データから新たな価値を生み出す能力を身に付けます。

モウア ジェニファー MOUA, Jennifer 講師

英語教育
国際文化学



It is such a joy to be a part of the Intensive English Program. You will create wonderful connections with your classmates and your teacher. I am here to help you and make sure you will learn and enjoy your English classes. English is a widely-spoken global language and I want you to be a part of it. I believe in you, I'm listening to you, and know that your future starts from here.



特別サイト

さらに詳しい内容を
紹介しています

人間形成教育4つの科目群とプロジェクト研究

確かな土台をつくる人間形成教育

総合教育科目

確かな知力の土台となる基礎学力に加え、 環境と経営2つの視点を修得

自然科学、社会科学、人文科学を学び、教養をより豊かにします。さらに、「相互履修」制度により、環境と経営の学部の垣根を越えて学修することができます。

相互履修科目

自然環境保全概論、
循環型社会形成概論、
経営学入門、
現代経済学入門 など

授業科目

鳥取学	文章作成1・2	数理基礎
地理学入門	SDGs基礎	環境学概論
		など

外国語科目

45分授業を週2回実施。 集中して学修し、英語(会話)能力を向上

10年後、20年後は今まで以上に国際交流が盛んになり、外国語(特に英語)によるコミュニケーション能力が求められます。そこで、英語(特に会話)能力のさらなる向上を目指し、週2回45分授業を行うことで集中して継続的に学びます。

第二外国語

本学はロシア、中国、韓国の大学と交流しており、この3カ国語を第二外国語の選択科目としています。

英語村を設置

外国人スタッフとクイズや料理などのアクティビティを通して、基礎的な英会話スキルとコミュニケーション能力を修得します。

授業科目

Intensive English1-8
中国語1・2 韓国語1・2 ロシア語1・2
海外英語研修A-C 英語特別講義A-D
基礎英語能力養成A・B など

情報処理科目

「しぶといユーザー」を目指してパソコンを使いこなそう

全学生がノートパソコンを所有し、研究や実社会で役立つ実践的な情報処理能力を身に付けます。今や必需品となったパソコン。これを有効に使うかわからないかで、4年間の学生生活が変わってきます。パソコンを使いこなす力を身に付けます。

授業科目

情報リテラシ1-2

キャリアデザイン科目

与えられた4年間をどう過ごすかで将来に差がつく

イメージを形にするのは難しいもの。大学生活や研究、就職活動も同様です。それらをよりよい形でどう具現化するか、考え方と行動の仕方を学びます。

学び方を知る

社会を知る

仕事を知る

自分を知る

将来を描く

行動する

授業科目

キャリアデザインA・B
基礎インターンシップ
など

プロジェクト研究

様々なふれあい、学び合いを通して自分で考え、自ら行動する力を養成

プロジェクト研究1-4では、学生が自分の頭で考え、他者と協働しながら行動することを重視し、大学で学修していくために必要となる能力を養うことを目指します。筋道を立てて考える「思考力」、複数の異なる考え方から結論を得る「判断力」、自らの考えを他人に伝える「表現力」の3つの力を育て、「自分の意見を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育むことを目指した授業を行います。プロジェクト研究1-4までを履修することにより、学問を行う基礎力を段階的に養います。プロジェクト研究の詳細は、39ページをご参照ください。

プロジェクト研究で 用いられる指導方法

- 問題発見学修
- 問題解決学修
- 体験学修
- 調査学修

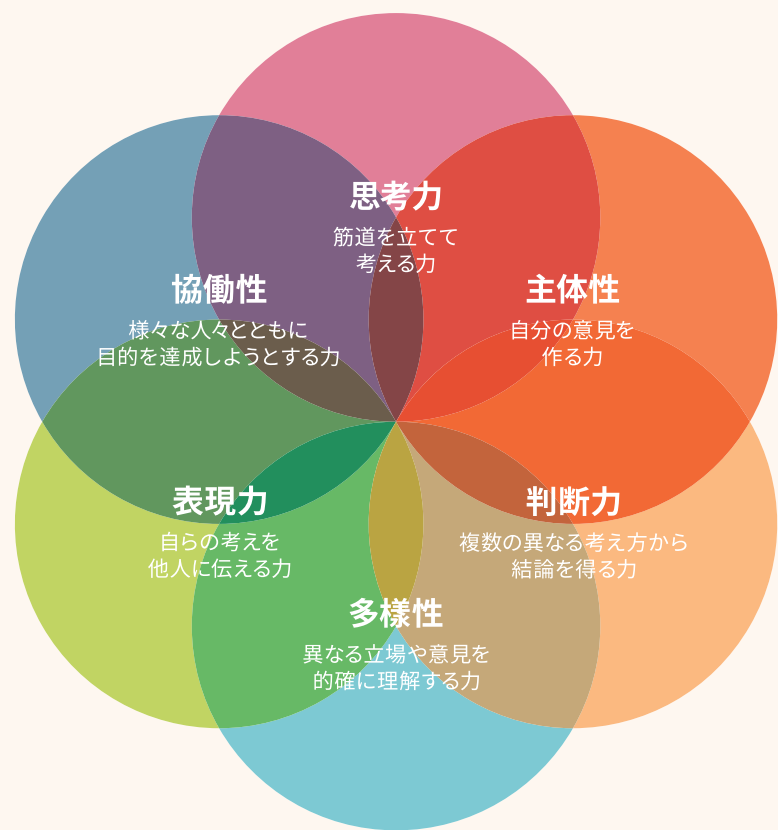
プロジェクト研究

答えのない問題に積極的に取り組み、自分の頭で考え
他者と協働しながら行動する力を身に付けよう

プロジェクト研究では、1・2年次の半期ごとに計4回、毎回異なったテーマ、メンバーで研究を行います。学生が自分の頭で考え、他者と協働しながら行動することを重視し、「思考力・判断力・表現力」を育て、「自分の意見を作りつつ多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を育むことを目指します。本学独自の特色ある科目です。



6つの要素を鍛える プロジェクト研究1~4/1・2年次



プロジェクト研究テーマ例

※2023年度の実施内容(一部)

地域実践(麒麟)

- 鳥取での再生可能エネルギーの活用を考えてみよう
- 学校の適正規模を考える ~学校の小規模化と統廃合~
- ガーデニングと地域の経営課題 など

SDGs

- ローカル鉄道から考える地域交通
- 不法投棄「事件」を検証する
- 法律や制度から人と動物との共生を考える など

グローバル

- なぜ日本人は英語を話すことが苦手なのか?
- いろいろな「モノ」や「コト」の歴史について調べよう
- 食べものから考える環境問題 など

一般

- 生成AIについて考える
- 産業気象とは何か? ~君はお宝に囲まれている!~
- もう一度ブームは来るのか? 「平成」を体験してみよう! など

国際交流

世界に飛び出して視野を広げよう!
異文化交流で人間性をさらに豊かに

本学では語学研修などの海外派遣の支援、国際交流事業や学生交流プログラムなど様々な国際交流を積極的に促進しています。また、英語村でのチャットやアクティビティ、留学生サポーターによる交流イベントなどを通じて日常の中の異文化理解の場を提供、支援しています。ぜひ多くの人と出会い、自分の足で広い世界を見て、感じてみてください。その経験は自分の世界を広げ、これまでの見慣れた風景も違って見せてくれるでしょう。



多文化交流空間「英語村」

実践的な英会話を楽しく学べる
疑似英語圏体験空間

世界共通言語である英語でのコミュニケーション能力は、グローバル化時代においては欠かせません。本学には楽しく自然に英会話スキルとコミュニケーション能力を身に付けられる「英語村」があります。ここでの会話は英語のみ。自信がなくても構わないので、英語で話し切ることチャレンジしてみてください。外国人スタッフと英語で楽しむチャットのほか、料理やゲームや誕生日会などのアクティビティや季節のイベントも開催。スタッフの国籍は様々で、英語だけでなく世界各国の文化にも触れることができます。



学生交流プログラム

諸外国との交流を通して
相互理解を深めるプログラム

本学は相互交流協定を結んでいる海外の大学と学生交流プログラムを実施しています。清州大学(韓国)とは両校の参加学生が両国を相互に訪問し、共に語学学習や伝統文化体験をします。現地では、ホスト校それぞれがリードして異文化理解を深めるとともに学生同士の交流を行っています。また、セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(アメリカ)とは、学生交流と異文化体験を主とした相互派遣方式のプログラムを展開しており、交流や文化体験を通じて、相互理解を深めていきます。



短期語学留学

短期間で集中的に語学研修や
文化体験等ができる

語学に興味がある、異文化体験や現地ならではの進んだ学修をしたい。そんな方に本学は多数の語学研修プログラムを用意しています。例えば、カッセル大学(ドイツ)の短期語学留学では、ドイツの「ツーリズム、産業、再生エネルギー」などのテーマについて、レクチャーやフィールド学習を通して経営と環境の両側面から英語で学びます。他にも米国、オーストラリア、カナダ、マレーシア、韓国、中国などの留学先があり、24時間外国語に触れて会話力を高めるとともに、現地の文化や暮らしを学びます。

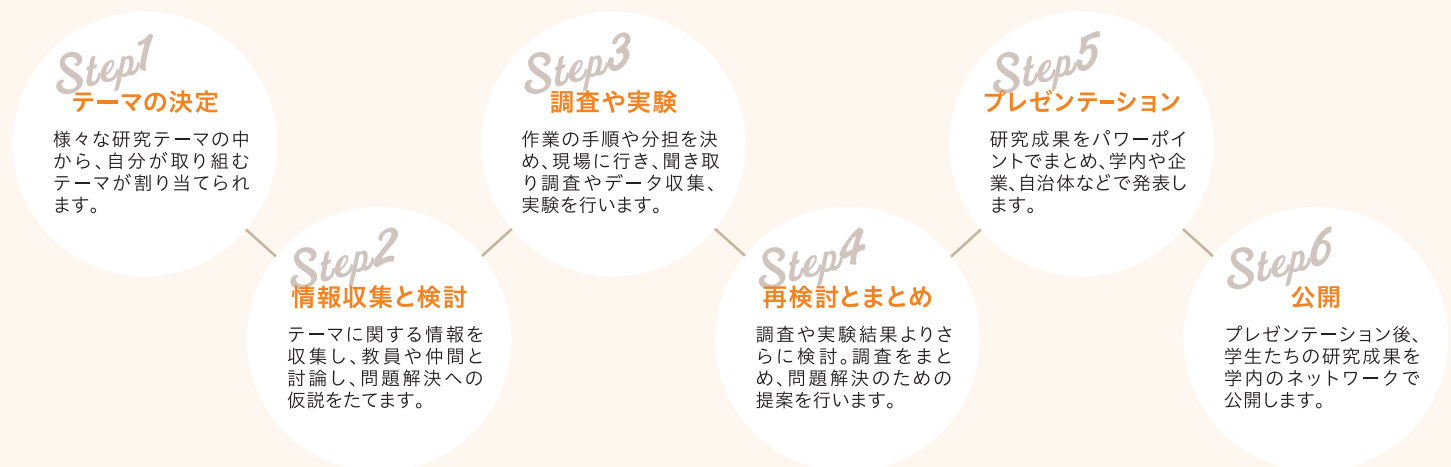


留学生サポーター制度・交流会

外国人留学生を楽しく
サポートしながら異文化交流

本学は多国籍の留学生を受け入れています。留学生が円滑に、思い出に残る学生生活を送ることができるよう、様々な制度を設けてサポートしています。その中心となるのが、留学生の日本語学習や生活相談などを行いながら異文化を相互に学び合うことを目的とする「外国人留学生サポーター制度」。国際交流センター主催の交流会のほか、サポーター学生の呼びかけにより、自発的に花火大会に同行したり、懇親パーティを開催したりするなど、充実した活動が行われています。

プロジェクト研究の流れ



国際交流事業の概要、協定校一覧、
交流実績等ははこちらから。

環境経営研究科 修士課程

大学院

「経営」の視点を持った環境学
「環境」を意識した経営学が求められています

大学院環境経営研究科では、主として自然科学を軸とする「環境学専攻」と、社会科学に軸をおく「経営学専攻」、そして研究科共通の「環境経営科目群」を配置しています。学部での環境、経営に関する基礎的知識をもとに、より専門性の高い知識、思考力、実践力の獲得を目指し、環境を切り口に自然科学と社会科学が融合した授業科目を修得して、「人と社会と自然との共生」、「持続可能な社会」の構築に向けた、実現可能な提案や、その提案に基づいた実践的行動ができる高度専門職業人を育成します。

環境学専攻 修士(環境学)



環境学専攻の教育目標は、環境学だけでなく経営学の視点を持ちながら、持続可能な社会の構築に向けて貢献できる人材を育成することです。また、地域資源の管理や保全について、現実に応じた有効で具体的な提案ができる人材育成を目指します。研究科共通科目である「環境経営科目群」に加えて、領域の専門性を高めるために「自然環境科目群」「資源循環科目群」「人間環境科目群」の3つの科目群を設置しており、学生自身の問題意識、研究テーマに応じて科目を選択します。各科目群は、地域の実際の問題に接し、その問題解決につながる提案や活動にむすびつく内容やフィールド活動を盛り込む講義内容となっています。また、必修科目として「特別演習」「特別研究」を設置し、学生自身の問題意識を育てて研究のテーマ追究を個人指導し、修士論文の作成に向けて取り組みます。

自然環境科目群	特別演習
資源循環科目群	特別研究
人間環境科目群	

環境経営科目群

進路イメージ

- 自治体における環境政策や環境アセスメントの担当者
- 企業における環境マネジメントの立案や実施担当者
- 地域行政におけるリサイクルシステムの設計や実施に関わる担当者
- 再生可能エネルギーの導入に関わるコーディネーター
- 環境保護や地域づくりに関わるNPO法人の職員

経営学専攻 修士(経営学)



経営学専攻の教育目標は、環境経営の視点かつ経営学の基幹的知識を身に付けたうえで、企業経営、地域経営、経営情報への応用力を形成する教育研究を行うことです。環境経営の視点を持ちつつ、経営学の基本的知識と分析力、仮説構築力を身に付けた、環境経営マネジメントを主導できる人材、高度な企業経営を主導できる人材、地域経営や地域経済活性化に活躍できる人材、企業経営において情報基盤を活用できる人材等の高度専門職業人を育成します。「企業経営科目群」「地域経営科目群」「経営情報科目群」の3つの科目群、および研究科共通科目である「環境経営科目群」を設置し、学生自身の問題意識、研究テーマに応じて選択できるカリキュラムとなっています。また、必修科目の「特別研究1」「特別研究2」では、学生自身の問題意識を育てて研究のテーマ追究を個人指導し、修士論文の作成に取り組めます。

企業経営科目群	特別研究1
地域経営科目群	特別研究2
経営情報科目群	

進路イメージ

- 企業の経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- 地域の企業、官公庁における経営管理、戦略立案、財務マネジメント、企画担当者
- 環境経営に携わる経営管理者、金融機関等の事業性評価担当者
- 企業の情報基盤活用担当者

附属研究機関

サステナビリティ研究所、地域イノベーション研究センターでは
持続可能な社会の実現に向け、研究を進めています

サステナビリティ研究所は、グローバルな視点と個別的なローカルな問題意識をもって、地域の独自性を生かし、地域社会の発展や活性化に貢献したいと考えています。また、地域イノベーション研究センターは創造性に富んだ豊かな地域社会形成に取り組み中です。研究室をはじめ、ギャラリー・ホールなどを備えており、イベントなども随時開催しています。

サステナビリティ研究所



研究所長
田島 正喜 教授

東京工業大学卒業、同大学院総合理工学研究所電子化学専攻修士課程修了後、東京ガス株式会社入社。2002年新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)エネルギー・環境技術開発室出向。2009年3月東京大学大学院農学生命科学研究科生物・環境工学専攻博士課程修了。2011年4月より九州大学大学院工学研究科機械工学部門教授。2015年地球環境産業技術研究機構(RITE)CO2貯留G出向、九州大学水素エネルギー国際研究センター客員教授。2017年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授、2020年4月より公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所長。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

地域イノベーション研究センター



センター長
吉永 郁生 教授

京都大学農学部水産学科卒業。同大学農学博士学位取得。文部省在外研究員としてアメリカ合衆国オレゴン州立大学に留学後、京都大学大学院農学研究科助教を経て、2013年4月より鳥取環境大学環境学部環境学科教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2015年4月より公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻教授。2016年4月より同大学地域イノベーション研究センター長・大学院環境情報学研究科環境学専攻教授。



特別サイト

さらに詳しい内容を紹介しています

持続可能な社会構築に向けた共同事業、諸研究を展開

化石燃料を大量に消費し続けると、二酸化炭素のような温室効果ガスが増大して地球温暖化現象を引き起こすなど環境負荷が増大し、持続可能な社会を維持することが困難になります。これを防ぐためには、経済性を考慮しつつ、再生可能エネルギー導入を拡大し、水資源、バイオマス資源などの有効利用とリサイクルを推進し、生物多様性を維持し生態系を守ることが必要になります。これらは国連サミットで採択された17のゴールから構成されている持続可能な開発目標(SDGs)とも基本的に一致するものであると考えます。私達は本研究所の独自性を活かし、本学としてのSDGs活動を推進しつつ、グローバルな視点を持って地域社会の発展や活性化に貢献したいと考えています。この実現に向けて下記に掲げる活動をしながら学生とも一緒に行動するとともに、持続可能な地域社会を目指し、次世代のための人材育成を図ります。

研究・活動例

- 持続可能性の維持・確立に関する研究の実施
- 研究成果報告会等の開催(SDGs)
- 県や市等の自治体や商工会議所、民間企業とのSDGs関連事業の共同実施
- SDGs推進会議への参画 など

地域に関する研究や実践を通じて、 人材の育成へ、そして生き方の創造へ

これからの日本は人口が減少し、高齢化することは確実です。その中で新たな生き方を模索し、創造していかなければなりません。ある人の生き方は、常に、住んでいる場所の自然環境や社会、そして文化や歴史と密接に関係しています。だからこそ、本学の理念「人と社会と自然との共生」は新しい生き方の重要な価値観です。地域イノベーション研究センターでは、固有の自然環境を基盤とする鳥取県の地域社会や文化、産業について、様々な課題に取り組んでいます。この地域の研究・実践を通じて、学生が将来、地域の中で主導的にその役割を果たせる立場になることを目標にしています。地球レベルの環境問題であっても、その解決策は地域の中に存在することを認識し、小さな鳥取県での取り組みが将来は世界のモデルになるであろうことを意識して学修していきます。Act Locally, and Think Globally !!

研究・活動例

- 科学的データに基づく農水産物の「鳥取ブランド」育成
- 有機物のノンターゲット解析データを活かした持続可能な農業技術の開発
- 体験型観光等をツールとした地域関係人口の増大と地方での新しい生き方の提案 など

期待を胸に始まるあなたの環境大でのキャンパスライフ。
春夏秋冬で様々なイベントが行われます。
また、夏期や春期休業中も自らの可能性を広げるチャンスです。



1 鳥取しゃんしゃん祭

毎年8月中旬に行われる鳥取しゃんしゃん祭の一斉傘踊りにはTUESしゃんしゃん委員会が主体となって多くの学生たちが参加しています。

2 留学

本学の国際交流センターでは、長期・短期の海外留学や語学研修プログラムを提供しています。留学期間や内容に応じて大学から一部補助金が出ます。

3 環大コンペ

地域の企業からなる「公立鳥取環境大学を支援する会」が主催する環大コンペでは、大学生活の向上と地域社会に貢献する企画を学内から募集し、優秀企画(団体)を表彰します。

4 学生交流プログラム

海外の大学との交流協定に基づき、様々な学生プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験などを通じて、視野の広がりや成長のきっかけになっています。

Campus Life Report

学生生活



インタビュー

経営学部3年
岩田 佑太さん

鈴付きの美しい和傘をしゃんしゃん鳴らしながら練り歩く「鳥取しゃんしゃん祭」。毎年8月に行われる、鳥取の夏の風物詩です。環境大には「TUESしゃんしゃん委員会」という学生団体があり、毎年たくさんの学生を祭に送り出しています。委員長を務めた岩田さんに、日々の生活について聞いてみました。



環境と経営の両方が学べるのが一番の魅力。勉強、バイト、サークルに大忙しだけど毎日充実!

私は福井県の出身で海洋系の高校に通っていました。そこで海ごみのプラスチックを使った商品を販売する経験をし、環境も経営も学べる環境大に進むことを決めました。今はマーケティングのことを中心に勉強しながら、バイトやTUESしゃんしゃん委員会などの活動をしています。

学年を超えてたくさん
のかけがえない
仲間と出会えます!



コロナ禍で中止や会場変更を余儀なくされたしゃんしゃん祭ですが、2023年は4年振りに市市中心部での開催となりました。他学年と交流しながら猛練習をして一斉傘踊り本番に挑み、一緒に楽しく踊ることができ、大きな達成感を得ることができました。



委員長になってからは、後輩にも主体的に関わってもらうことを心掛けています。SNSも活用し会議がスムーズに進むよう工夫することを大切にしています。祭を主催する「鳥取しゃんしゃん祭振興会」の運営会議への参加もいつも刺激になっています。



環境大には英語村をはじめ、異文化交流ができる機会が盛りだくさん! 国境の垣根を越えた繋がりができます!



キャンパスに
いながら異文化
交流ができる!



日常的な国際交流



四季折々の大学生活

桜!新緑!紅葉!雪!
全シーズン楽しめる!



体育系 20club / 文化系 25club



大学内のクラブ・サークルを紹介!

大きく体育系と文化系に分かれる本学のクラブ・サークル活動。兼部も可能なので、興味のあるところに参加してみ、ずっと付き合える一生の仲間ができるはず!



空手道部



硬式テニス部



弓道部



サイクリング部



剣道部



ソフトボール部



Tennisサークル



女子バレーボール部



卓球部



ダンス部



バドミントン部



ソフトテニス部



バスケットボール部



ハンドボール部



ボード競技部



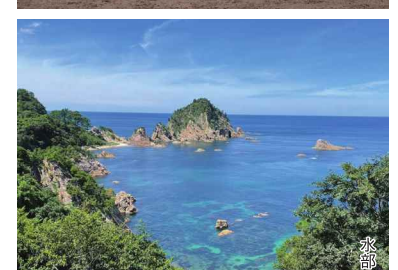
ソフトボール部



男子バレーボール部



軟式野球部



水部



ダイビング部



陸上競技部



アカペラ部



馬っ子部



PowerDolls



手芸部



琴部



ギター部



森の俳人部



理大鼓隊



アトリエちゅーす同好会



無国籍茶道部



音楽部



文芸部



マーケティング部



羊子部



TUES English Club



テーブルゲーム研究会



美術部



無国籍茶道部



文学部



人と自然部



吹奏同好会



吹奏楽部



地域交流部



料理部



生物部



TUESカメラ部



TUES放送文化部



献血推進サークル(献血部)

中には全国でも珍しいユニークなサークルも。環謝祭(大学祭)や地域のお祭りなど発表の場もたくさんあり、学生一人ひとりが充実した生活を送っています。

データでわかる! TUES情報

TUES info



アクセスマップ



まちなかキャンパス

地域の皆さんや自治体、学生・教職員が集い、地域連携を進めていく拠点です。

詳細はP58へ▶

1 JR鳥取駅周辺



2 スーパーが多いエリア



3 飲食店が多いエリア



4 学生アパートが多いエリア



学生向け住居賃データ



39,500円~46,000円



32,000円

住居費

1万円未満	1万円~3万円未満	3万円~5万円未満	5万円~10万円未満
17%	5%	63%	15%

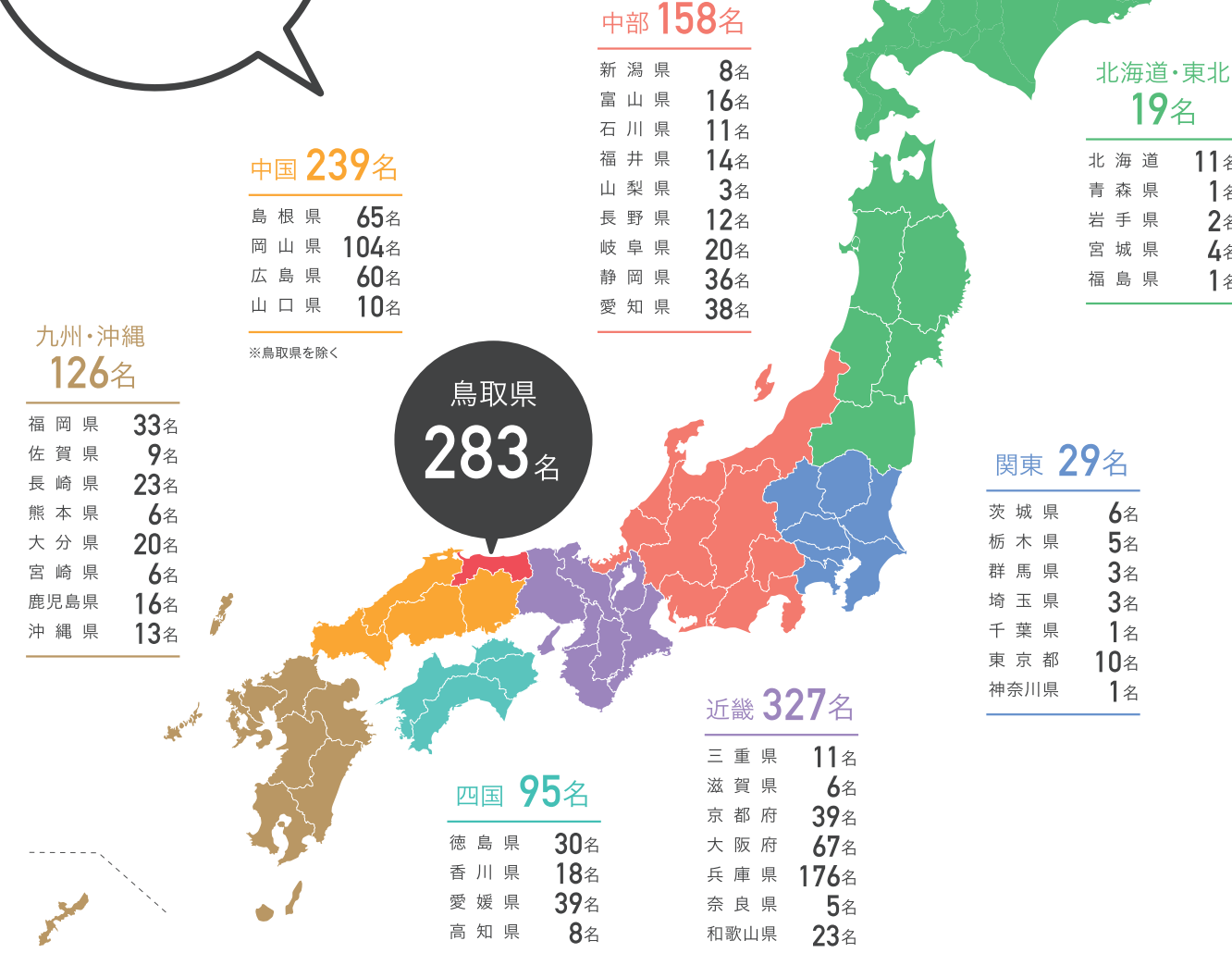
※2023年大学調べ

在学生数
計1,306名
(2024年4月1日現在)

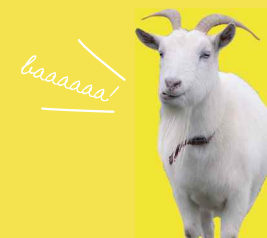


留学生 30名

在学生出身地



公立鳥取環境大学と もっと繋がる!



公式WEBSITE

<https://www.kankyo-u.ac.jp/>

大学紹介や学部・大学院、入試や学生生活など大学全体の情報はこちらからチェック! インターネット出願や資料請求もできます。



公式YouTube

@user-rq7wd6df3e

大学や学部の紹介動画・キャンパスツアー(VR)・模擬授業・KANラジ(カンラジ)など様々なコンテンツを公開中!



公式X

@kankyo_U

公式サイトでお知らせした情報を日々タイムリーに発信中! キャンパスの風景など公立鳥取環境大学の日常もお届けします!



LINE@ 公式LINE@

@kankyo-u

イベントや広報誌・刊行物の発行のお知らせなど、高校生の皆さん向けの情報はこちらから! ぜひ友達追加をしてください。



英語村Instagram

@tues_englishvillage

英語村の日常を国際交流センターが発信中。英語村の最新情報、イベントや活動の様子はこちらからチェック!



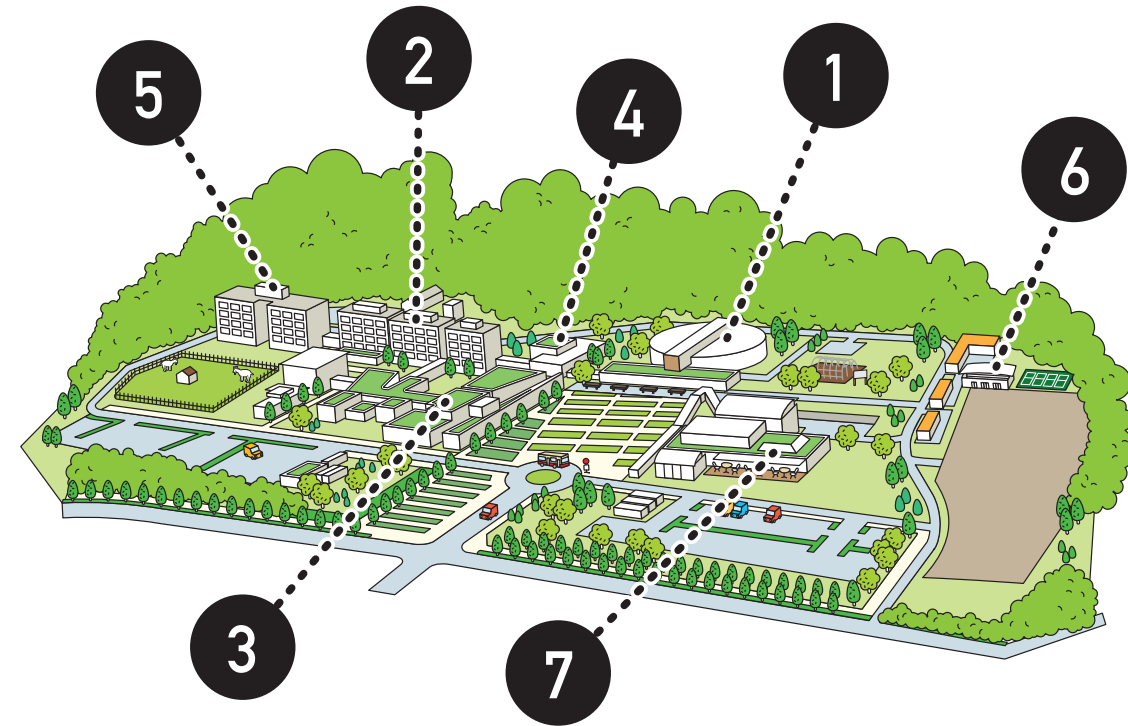
大学内の施設をサクッと紹介!

充実した実験エリアはもちろん、図書館やグラウンド、体育館、学食まで様々な施設がコンパクトにまとまっています。エコ設備が充実しているのも環境大ならではの強みです!



キャンパスマップ

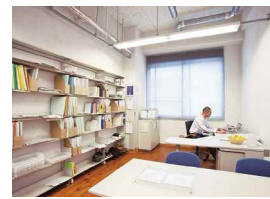
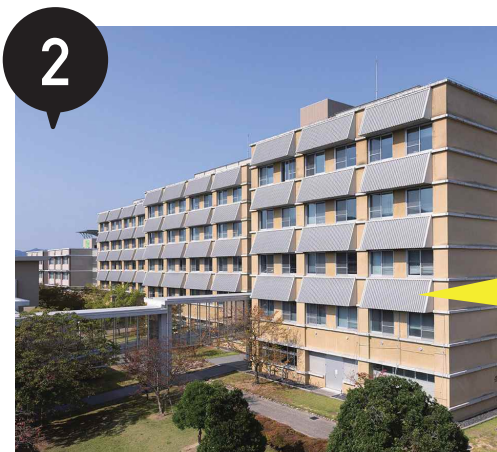
緑に囲まれ、落ち着いた雰囲気のカンパスに、いつでも利用可能な学生研究室、集中して学修に取り組める図書館、多くの実験室など充実した施設があります。



情報メディアセンター (図書館)

図書館と学内ネットワーク機器室などがあり、メインアプローチの正面に位置する大学のシンボリックな施設です。

閲覧室前のギャラリーは学生の交流スペースとなっています。また、図書館(閲覧室)には約10万冊の蔵書があり、研究や学修に集中できる環境となっています。さらに、個人ブースやグループで学修活動等の行えるラーニング・コモンズがあります。



教育研究棟

教育と研究の拠点。コミュニケーションが活きる配置で、環境にも配慮した先進設備です。

教員研究室や学生研究室などがある教育研究棟。それぞれが近接しており、教員と学生のコミュニケーションが取りやすい部屋の配置となっています。学生研究室は授業の空き時間に利用できます。また、太陽熱を暖房に利用するソーラーウォールを設置するなど、環境に配慮した工夫を随所で凝らしています。



大学本部・講義棟

学務課や学長室などがある本部。最大500人収容の大講義室は設備も万全です。

1階に学務課や保健室など、2階には学長・副学長室、総務課、入試広報課などを配置している大学本部。講義棟には12室の講義室があります。大講義室(5室:230~500席)は、講義はもとより、講演会・パネルディスカッションなど多目的に利用が可能。映像、音響設備もフル仕様となっています。中講義室(9室:各室120席)のうち3室は全席に情報コンセントを備えています。



実験研究棟

多彩な実験室が揃う研究棟。充実した設備の中で幅広い分野の教育・研究を行っています。

実験室、教員研究室、学生実験室がある実験研究棟。1階には土壌系実験室、地学系実験室、動物系実験室、2階には物理系実験室、有機化学系実験室、植物系実験室、工作室、3階には廃棄物系実験室、無機化学系実験室、微生物系実験室を配置。幅広い分野の研究を行うことができます。さらに、南側にはヤギが暮らす放牧地があり、環境大ならではの風景となっています。



情報処理棟

主に語学の授業で使用する語学演習室があります。

全室に可動機を整備しており、プロジェクターや書画カメラも設置されています。語学だけでなく、プロジェクト研究などの演習や、パソコンを使った学修スペースとしても使われています。



体育館・グラウンド・テニスコート・クラブハウス

体育館やグラウンドを始め、クラブハウスやテニスコートなど運動・厚生施設があります。

1周300mのトラックを持ち、野球やサッカーなどに使用できるグラウンドと4面のテニスコート。体育館の横に部室が並ぶクラブハウスがあり、サークル活動に活用されています。



学生センター

学生の憩いの場から英語村まで。カフェテリア・購買・多目的ホールが揃います。

1階には学生の憩いの空間であるカフェテリア(学生食堂)・便利な購買・英語圏を疑似体験できる「英語村」があり、2階には文化系サークル活動もできる多目的ホールや和室等があります。多目的ホールは映像・音響設備も完備し、様々な利用が可能です。

エコ設備

環境に配慮した設備をあらゆる場所に。省エネで持続可能なキャンパスライフを。

環境に配慮した設備が至るところにあるのがキャンパスの大きな特長です。地下熱を利用して冷暖房の負荷を減らすクールヒートチャンバーを設置しています。また、ソーラーパネルやソーラーウォールなど太陽の光や熱を利用する施設が随所にあります。さらに、キャンパス内の道路や駐車場には、廃材で作られた再生アスファルトを採用しています。



就職支援センター

就職

本学が誇る高い就職内定率は一人ひとりに真摯に向き合う徹底したサポートによって実現されています

就職支援センターでは、学生一人ひとりに寄り添い、不安や疑問を解消しながら、希望する就職先への内定を目指し、就職活動のサポートを行います。1年次の進路ガイダンスや資格・検定の取得支援に始まり、3年次には全学生と個人面談を行うなど小規模大学ならではの手厚いバックアップを実施しています。



一人ひとりの進路の希望や悩みを聞き
ゴールに向かってともに走ります

就職支援センターのスタッフをはじめ、キャリアカウンセラーや就職実践講師などの専門家が就職活動をサポート。学生一人ひとりの相談に親身に対応します。また、3・4年次の採用情報解禁、選考活動解禁に向けて、社会に出る土台づくりをしていくため1年次にキャリアデザインA、2年次にキャリアデザインBを開講(いずれも必修科目)。3年次からは毎週開催する就職ガイダンスで就職活動に向けた知識やスキル習得に向けて指導します。さらに、就職アドバイザーが定期的に主要都市にある企業の訪問を実施し、求人開拓にも力を入れています。遠方で就職活動をする学生には交通費や宿泊費の補助も行っています。資格・検定の取得を目指す学生には、4年間を通して学内講座による資格支援講座を開講するなど充実した体制でサポートをしています。

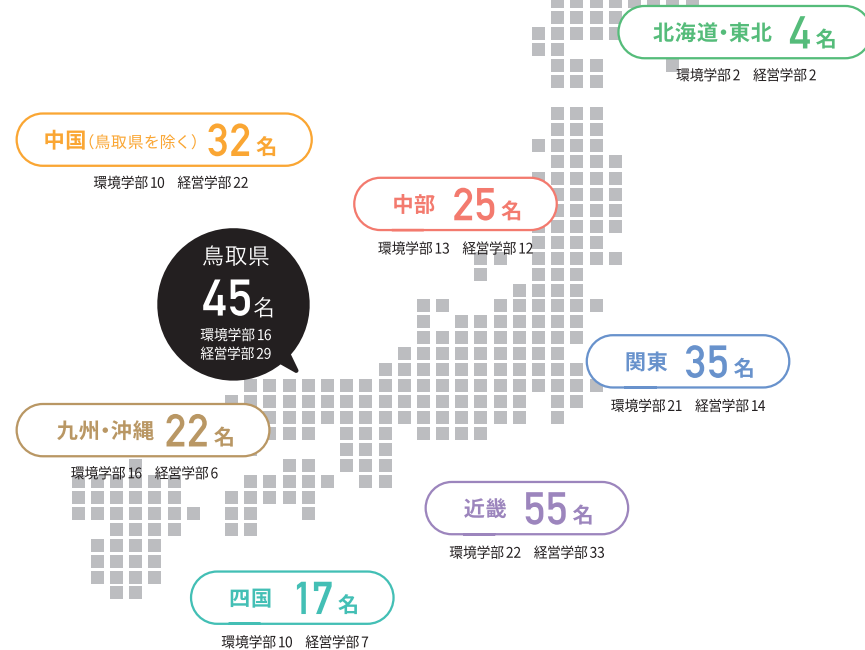
就職内定率

99.2%

2023年度実績

地域別就職内定者数

※地域は就職内定先の本社所在地



環境学部
内定者数 110名
就職希望者数 110名
100%

経営学部
内定者数 125名
就職希望者数 127名
98.4%

Support
1

きめ細かなガイダンスと面談

仕事をするときに求められる力は、正しい答えがない課題を解決する人間力です。勉強はもちろん、地域活動やアルバイトなど様々なことを経験しましょう。



就職アドバイザー 吹野 之彦

就職ガイダンス

全3年生対象の個人面談

学内企業説明会

キャリアカウンセラー



Support
2

公務員試験合格や資格取得を目指す

資格・検定サポートの2つの特色

フォロー制度

本学には学生たちの可能性を伸ばすために担当職員を配置し、様々な相談に応えるほか、温かく見守り合格へとサポートします。

学生表彰制度(資格・検定)

本学が定める資格・検定および課外活動で優秀な成績を修めた学生を対象に、学長が表彰するとともに、副賞を授与します。

2023年度の
学生表彰一覧

公認会計士(短答式合格) / 技術士補(上下水道) / FP2級 / 日商簿記2級 / CEFR B1 / CEFR B2相当以上 / eco検定 etc

公務員試験対策講座・資格取得支援講座を開講

Wスクールともいえる公務員試験対策講座や資格取得支援講座を学内で開講しています。講座費用の一部を本学がサポートし、学生の経済的な負担を軽減しています。さらに、合格者への表彰制度もあります。

スタートアップの支援がしたいと思い、高校生のときから公認会計士を目指していました。日商簿記の勉強から開始し、3級から順に1級まで取得。大学の授業で会計学や法律などをしっかり学び、公認会計士の一次試験も通ることができました。環境大はゼミ室や自習室など勉強の環境に恵まれています。先生のサポートも手厚く、モチベーションを維持できました。



経営学部3年 荒木 凌さん

取得した
主な資格

日商簿記検定試験1級(2年次2022年11月)
公認会計士一次試験(3年次2023年5月)

Support
3

就職活動への経済的な支援

鳥取県外や地元での就職活動を積極的に行えるよう、交通費や宿泊費の一部を助成する制度があります。

<p>就職活動にかかる交通費を補助します。</p> <p>必要な交通費を就職活動で上限50,000円まで、インターンシップで上限30,000円まで補助。</p>	<p>1泊につき3,000円宿泊費を補助します。</p> <p>宿泊費を1泊につき3,000円補助。(就職活動で上限15,000円までインターンシップで上限9,000円まで)</p>	<p>バスケットを安く販売し、サポートします。</p> <p>鳥取-大阪間のバスケット片道通常3,800円を割引価格1,700円で販売。</p>	<p>就職活動支援システム「TUESキャリアナビ」。</p> <p>本学に寄せられた求人情報を学内はもちろん、自宅等からもweb上で検索可能。</p>
---	--	---	--

Support
4

就職アドバイザー

経験豊富な就職アドバイザーが在学生一人ひとりの希望に沿って、マンツーマンで対応してくれます。就職のことだけでなく、色々な相談にも乗ってくれる頼もしい存在です。鳥取県を始め、山陽地区にも出張し、積極的に企業訪問や求人開拓を行っています。

支援内容

進路全般に関する相談 / 求人情報提供 / 面接練習 / 履歴書・エントリーシートの添削

※上記1~5の制度は2024年度時点のものです。変更となる場合があります。

Support
5

説明会・相談会

学内合同説明会や企業懇談会などを定期的に開催。企業の担当者をお招きし、学生との接点をつくることで企業・求人情報、インターンシップ受入情報などを得る機会を設けています。さらに、卒業生ネットワークを整備しており、OB・OG就職相談会も実施しています。



卒業生の就職・進学先 (2023年度卒業生)

環境学部

【一般企業】(農業・林業)ひよこカンパニー(建設業)ウッズカンパニー、AQ Group、グリーンライフ産業、大成温調、タケウチ、千代田工務店、戸田道路、TOTOアクアエンジニア、福田造園土木、フソウ、ヤマタホールディングス、ユニバーサル園芸社(製造業)岩谷瓦斯、大島造船所、北四国グラビア印刷、三和シャッター工業、長門牧場、日本植生、ヒューテック、深江化成、豊生ブレーキ工業、北海道フーズ、マルヤナギ小倉屋、銘建工業、ロマンライフ(電気・ガス・熱供給・水道業)NTTアノードエナジー、大分ガス、九州電力(情報通信業)大京システム開発、鳥取県情報センター、日本テクノストラクチャア、富士ソフト、MAHOFILM、南日本情報処理センター(運輸業・郵便業)中日本航空、北海道旅客鉄道(卸売業・小売業)アイ・ティー・エックス、アピ、エース、キタムラ、クックチャムプラスシー、コネクシオ、シマブンコーポレーション、セビア、ゾフ、武田メガネ、西日本フード、明屋書店、日比谷花壇、VHリテールサービス、ベクトル、矢崎総業、山善、ライド(金融業・保険業)あいおいニッセイ同和損害保険、阿波銀行、山陰合同銀行、鳥取銀行(不動産業・物品賃貸業)関西不動産販売、三交不動産(学術研究・専門・技術サービス業)NJS、鹿児島土木設計、九州シビル、太平洋エンジニアリング、ノースサンド、三井開発(宿泊業・飲食サービス業)メトロプロパティーズ(教育・学習支援業)東京動物園協会(医療・福祉)ケアサービス、鳥取県保健事業団、労働者健康安全機構(複合サービス事業)あいち海部農業協同組合、全国農業協同組合連合会、西日本信用漁業協同組合連合会、晴れの国岡山農業協同組合(サービス業(他に分類されないもの))ABC Cooking Studio、加山興業、環境管理センター、クリタス、白川郷自然共生フォーラム、wingAM、月島テクノメンテサービス、東洋ワークセキュリティ、パーソルクロステクノロジー

【公務員】農林水産省(水産庁)、兵庫労働局、石川県、滋賀県、鳥取県、島根県、山口県、山口県警察本部、猪名川町

【教員】石川県、徳島県、鳥取県

【大学院進学】京都大学、名古屋大学、大阪教育大学、愛媛大学、九州大学、公立鳥取環境大学、福岡工業大学

卸売業・小売業	製造業	建設業	サービス業 (他に分類されないもの)	公務 (他に分類されるものを除く)	学術研究・専門・ 技術サービス業	情報通信業	その他 (各5%以下の業種)
19.2%	12.5%	11.5%	9.6%	9.6%	6.7%	6.7%	24.2%

経営学部

【一般企業】(建設業)大本組、JAPAN HOME WAND、千代田工務店、ナガワ、ネクストイノベーション(製造業)アマダプレスシステム、エフピコ、エンプラス、大塚包装工業、寿製菓、三相電機、JMAX、シャトレーゼ、ショーワグローブ、ナベプロセス、日立ハイテクサイエンス、ホワイトフーズ、マルサンアイ鳥取、渡辺鉄工(電気・ガス・熱供給・水道業)太ーガス(情報通信業)EMD、NCDソリューションズ、エヌ・デーソフトウェア、倉敷ケーブルテレビ、ケイズ、コベルコソフトサービス、コンピュータサイエンス、システムズナカシマ、島根情報処理センター、セイノー情報サービス、セリオ、帝国データバンク、テクノスジャパン、ニッセイコム、日本海テレビジョン放送、ノバシステム、日立ソリューションズ西日本、三井情報(情報通信業)西日本旅客鉄道、日本郵便(卸売業・小売業)いーふらん、ACN、エフティコミュニケーションズ、エヌ・エス・ピー、京都トヨペット、ゴダイ、ゴールドトレーディング、三愛オプリ、山陰酸素工業、サンキ、山陽自動車、島根トヨタグループ、昭和、JOSHIN、スズキ自販鳥取、生活協同組合コープこうべ、大五、大黒天物産、田中商事、デジアラホールディングス、鳥取マツダ、日本アクセス、ヒラタ、福岡商事、FUTAEDA、マルト、モリックスジャパン、UACJトレーディング、ラルフローレン(金融業・保険業)エヌケーシー、共栄火災海上保険、近畿労働金庫、山陰合同銀行、大山日ノ丸証券、中国銀行、中国労働金庫、鳥取県信用保証協会、鳥取銀行、鳥取信用金庫、西兵庫信用金庫、広島銀行、広島信用金庫、福井銀行、みずほフィナンシャルグループ、みなど銀行、山口フィナンシャルグループ(不動産業・物品賃貸業)穴吹興産、アイデアハウス、エラン、トヨタレンタリース鳥取、西尾レントオール、日商エステム、長谷工アーベスト、ライフアシスト(学術研究・専門・技術サービス業)鵬技術コンサルタント、サンテラス、識学、ディップ、中尾総合事務所、長谷川会計事務所、ひたち野総合(生活関連サービス業・娯楽業)カープスホールディングス、ハウステンボス(複合サービス事業)全国農業協同組合連合会(サービス業(他に分類されないもの))アースサポート、エルフラット、JPツーウェイコンタクト、セコム、ダイヤモンド・ヒューマンリソース、平山、ワールドインテック

【公務員】防衛省航空自衛隊、兵庫県、鳥取県警察本部、島根県、桑名市、福知山市、鳥取市、丸亀市、智頭町

【大学院進学】横浜国立大学、島根大学

卸売業・小売業	金融業・保険業	情報通信業	製造業	不動産業・ 物品賃貸業	公務 (他に分類されるものを除く)	サービス業 (他に分類されないもの)	学術研究・専門・ 技術サービス業	その他 (各5%以下の業種)
23.2%	15.2%	14.4%	10.4%	7.2%	7.2%	5.6%	5.6%	11.2%

就職関連情報は
こちらから▶



※正規雇用のみ記載/業種別50音順/株式会社等省略しています。

2023年度卒業生

たくさん外に出たから、現場の声が大事だと気付いた。



生き物が好きだった私は迷わず太田ゼミを選択。海でウニの駆除活動をするなかで漁師の方々にお世話になりました。そこで、「現場のことを行政にわかってもらえない」という漁師さんの不満を耳にすることに。ゼミの課外活動ではクロマグロの資源調査を行い、重量や大きさの計測が想像以上に重労働だと気付きました。国家公務員試験の勉強は範囲が広がって辛かったですが、先輩や仲間の支えのおかげで合格しました。今、漁業者や現場の声にしっかり耳を傾けて、誠実に職務に当たりたいと強く思っています。

水産庁合格

吉中 里沙さん 広島県出身



Support System

学生サポート

チューター制度

学生ごとに担当の教員を割り当て、学生一人ひとりの学修目標に応じた履修指導などを行っています。履修・学生生活などで分からないことを気軽に相談できます。

オフィスアワー

学生が自由に教員研究室を訪ね、質問や相談ができます。週2回各90分のオフィスアワーを設けており、講義を受けていない学生も質問があれば訪ねることができます。

学生支援センター

学修や単位、卒業(修了)といった内容を中心に、大学生活での悩みごとについて職員が相談に応じます。また、障がいのある学生への配慮に関することについても相談に応じます。

健康管理(保健室)

講義中に気分が悪くなったり、課外活動中にケガをした場合にもすぐに適切な処置が受けられるよう、看護師が常駐しています。

- ケガや病気の応急処置
- 健康相談
- 医療機関の紹介(本学指定または本学周辺の医療機関)

メンタルヘルスケア(こころの相談室)

大学生活全般への不安、対人関係の悩みなどを、臨床心理士(常駐)とともに考えていく個別カウンセリングを受けることができます。また、学校医(メンタルヘルス)が月1回相談に応じます。

アルバイトの紹介

企業から依頼を受け、本学が学生にふさわしいと判断したアルバイトを紹介しています。また、講義サポートや聴覚障がい者への要約筆記、講義ビデオ撮影など、学内での作業やサポートのアルバイトを随時募集しています。

スクールバス

学生証を提示するだけで、通学や学外学修に便利な日本交通が運行している路線バス(鳥取駅-環境大学前間等)および、本学学生のみが乗車可能であるスクールバス(専用便)に乗車できます。また、土・日・祝祭日や夏期・冬期休業期間は、日本交通が運行している鳥取県東部地区の全路線に乗車できるため、観光地や中心市街地へも気軽に出かけることができます。

詳細は
こちら▶



学納金・奨学金について

本学の入学料および授業料をはじめとする学納金を紹介します。諸経費も必要になるのでご参照ください。また、日本学生支援機構の奨学金制度についてご案内します。

学納金

環境学部環境学科/経営学部経営学科

入学料 282,000円
(県内者 188,000円※)

授業料 535,800円
(2年次以降納付金合計)

初年度納付金合計 817,800円
(県内者 723,800円※)

※「県内者」は以下のいずれかに該当する方

- ①入学前年の4月1日から引き続き鳥取県内に住所を有している方
- ②入学前年の4月1日から配偶者または1親等の親族が引き続き鳥取県内に住所を有している方

入学時には別途、学生教育研究災害傷害保険、学生教育研究賠償責任保険、学生生活・学外学修交通システム(スクールバス)負担金等の諸経費として約25,000円程度が必要となります。

奨学金制度

本学では日本学生支援機構(JASSO)の奨学金を取り扱っています。

01

貸与型奨学金

02

給付型奨学金

03

授業料・入学料の免除・減額

注意事項

①～③の対象となるには世帯収入や学業成績などの要件があります。詳細についてはJASSOのウェブサイトをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/>



2025年度入試情報

2025年度 入試日程 環境学部・経営学部共通

入試区分		出願期間	試験日	合格発表日	試験会場	
特別選抜	総合型選抜	2024年9月13日(金)～25日(水)	2024年10月12日(土)・13日(日)	2024年11月1日(金)	本学	
	学校推薦型選抜	I型	2024年11月1日(金)～11日(月)	2024年11月23日(土)・24日(日)		2024年12月3日(火)
		II型 (鳥取県内高校出身者対象)	2025年1月20日(月)～28日(火)	2025年2月2日(日)		2025年2月10日(月)
		III型※1 (鳥取県内高校出身者対象)	2024年11月1日(金)～7日(木)	2024年※2 11月16日(土)・17日(日)・18日(月)		2024年12月3日(火)
一般選抜	前期日程	A方式	2025年2月25日(火)	2025年3月6日(木)	本学・首都圏 名古屋・大阪 米子・岡山 広島・福岡	
		B方式				2025年1月27日(月)～2月5日(水)
	後期日程	2025年3月13日(木)	2025年3月21日(金)	本学		

※1 学校推薦型選抜(III型)は環境学部のみ募集します。 ※2 試験日は3日間のうち本学が指定するいずれか1日となります。

2025年度 入試概要

入試区分	学部	募集人数	選抜方法		
特別選抜	総合型選抜	環境学部	20名	出願書類、模擬授業、集団面接、個別面接	
		経営学部			20名
	学校推薦型選抜	I型	環境学部	30名	出願書類、小論文、個別面接
			経営学部		
		II型 (鳥取県内高校出身者対象)	環境学部	10名	出願書類、共通テスト、小論文、個別面接
			経営学部		
III型※1 (鳥取県内高校出身者対象)	環境学部	15名	出願書類、プレゼンテーション・質疑応答		

入試区分	学部	募集人数	共通テスト科目	個別学力検査等	
一般選抜	前期日程	A方式	環境学部	●国語 ○地歴公民から1 ●数学 ●理科 ●外国語	◇数学、生物、化学から1
			経営学部	●国語 ○地歴公民、情報から2 ●数学 ●外国語	◇数学、英語から1
	B方式	環境学部	●国語 ○数学、理科から1 ●外国語	◇数学、生物、化学、英語から1	
		経営学部	●国語 ○地歴公民、情報、数学から1 ●外国語	◇数学、英語から1	
	後期日程	環境学部	●数学 ●理科 ●外国語	◆小論文	
		経営学部	○地歴公民、情報、数学から2 ●外国語	◆小論文	

※共通テストの詳細については、入学者選抜要項及び学生募集要項をご確認ください。 ●…必修科目 ○…選択科目 ◆…必修科目 ◇…選択科目

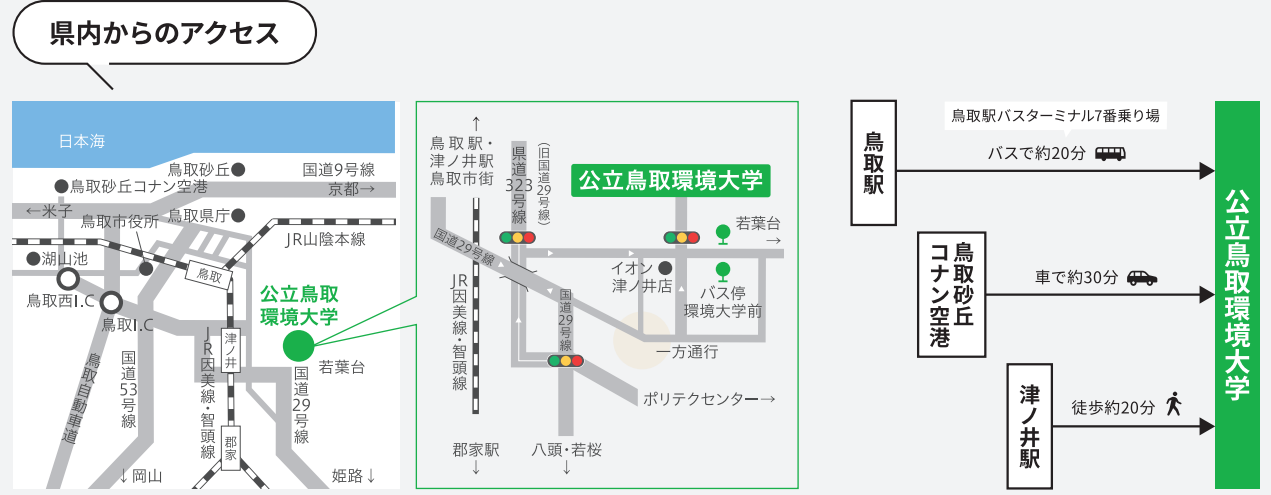


公立鳥取環境大学は「インターネット出願」を導入しています。

インターネット環境があれば、自宅のパソコンやスマートフォン、タブレット端末で出願登録が可能です。各収納機関、クレジットカード等で検定料をお支払いいただいた後に、必要書類をダウンロード・印刷し、大学へ郵送していただくことで、出願手続きは完了となります。

※日程等変更になる場合がありますので、出願手続きをはじめる前に、インターネット出願利用ガイド、学生募集要項を必ずご確認ください。(2024年8月頃、本学ホームページ上に掲載予定です。なお、紙での配布はありません。)

ACCESS GUIDE



- 姫路 車で約1時間50分 鳥取
- 大阪 車で約2時間30分 鳥取
- 岡山 車で約2時間40分 鳥取
- 大阪 JRで約2時間30分 鳥取
- 岡山 JRで約1時間45分 鳥取

学外施設

本学の教員や学生による鳥取県内での研究活動や地域連携、交流の拠点となっています。



まちなかキャンパス

鳥取県北口の日本通ビル3階にある環境大のサテライトキャンパス「まちなかキャンパス」。里山に生息する生物を間近に観察できる水槽を置いているため、動物たちの自然な行動が観察できます。

鳥取県鳥取市末広温泉町160日日本通ビル3階301号室(JR鳥取駅から徒歩5分)
0857-30-5501

西部サテライトキャンパス

就職活動を行う学生への支援拠点として、鳥取県西部地区や鳥根県での求人先の新規開拓などを受け付けています。また、公開講座なども開講。地域貢献・社会貢献の拠点として機能しています。

鳥取県米子市弥生町12
米子グルメプラザ(JR米子駅から徒歩3分)
0859-23-1311

岩美むらなかキャンパス

本学の教員や学生による研究活動や地域連携、交流の拠点として利用中。こちらは、本学と協力関係にある日本交通株式会社様から、創業者の生家を改修・増築のうえ、無償で借り受けています。

鳥取県岩美郡岩美町大谷449(JR鳥取駅から車で20分)
0857-38-6704